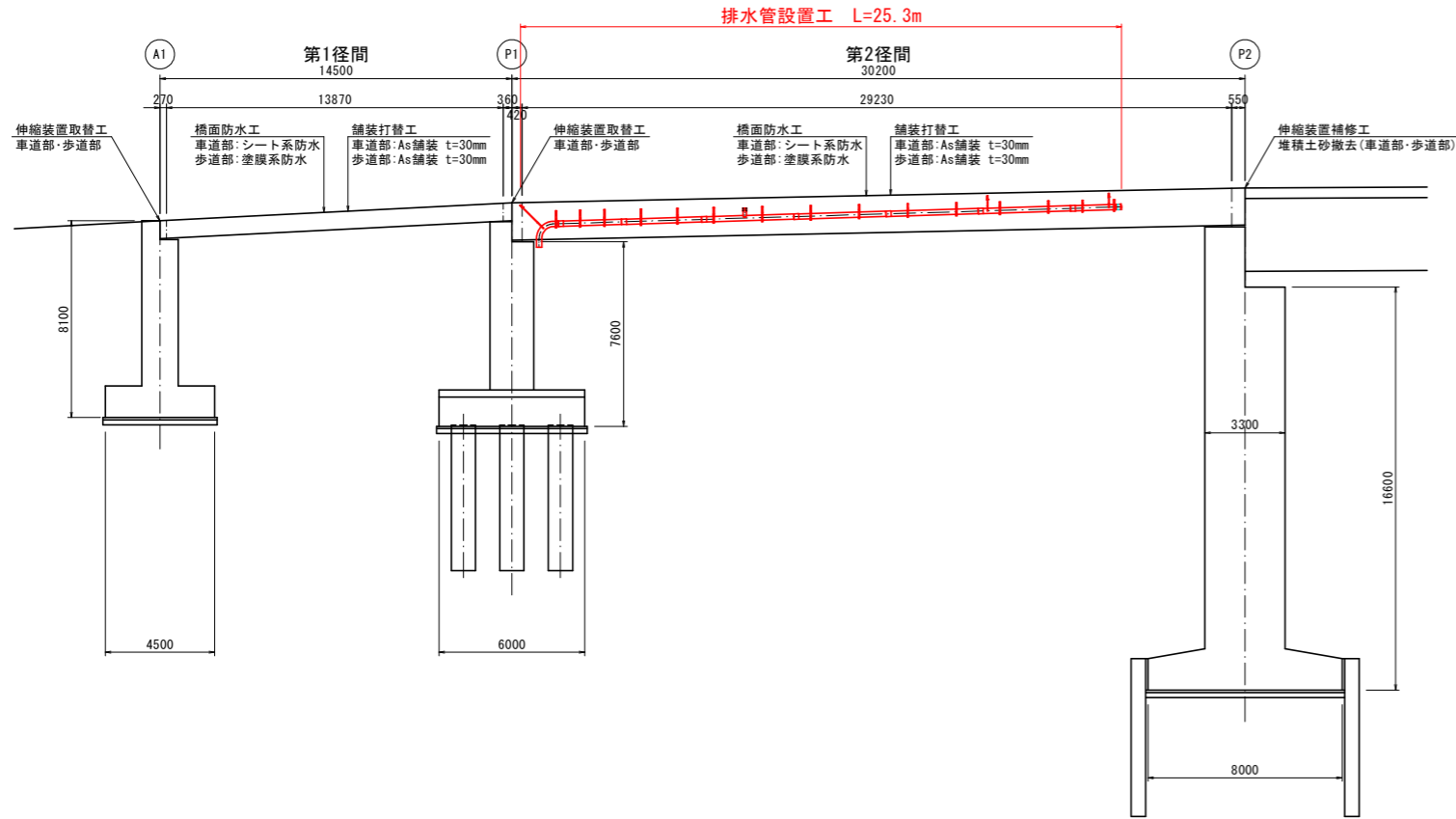


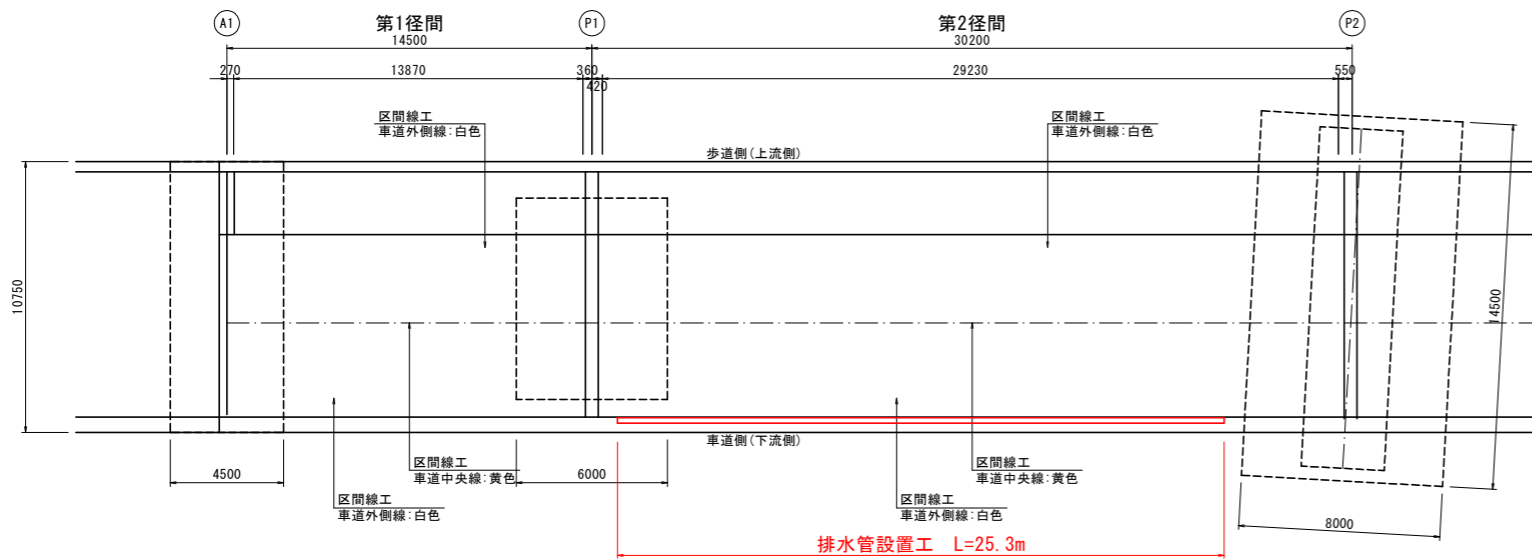
補修一般図(その1)

(PC橋区間:A1~P2[第1・第2径間])

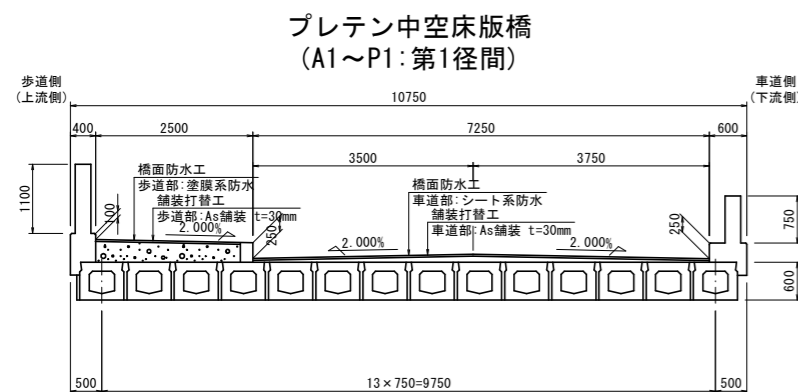
側面図 S=1:150



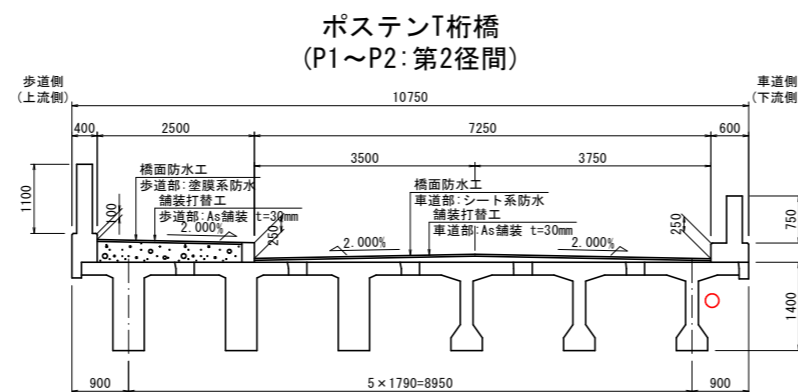
平面図 S=1:150



断面図 S=1:60

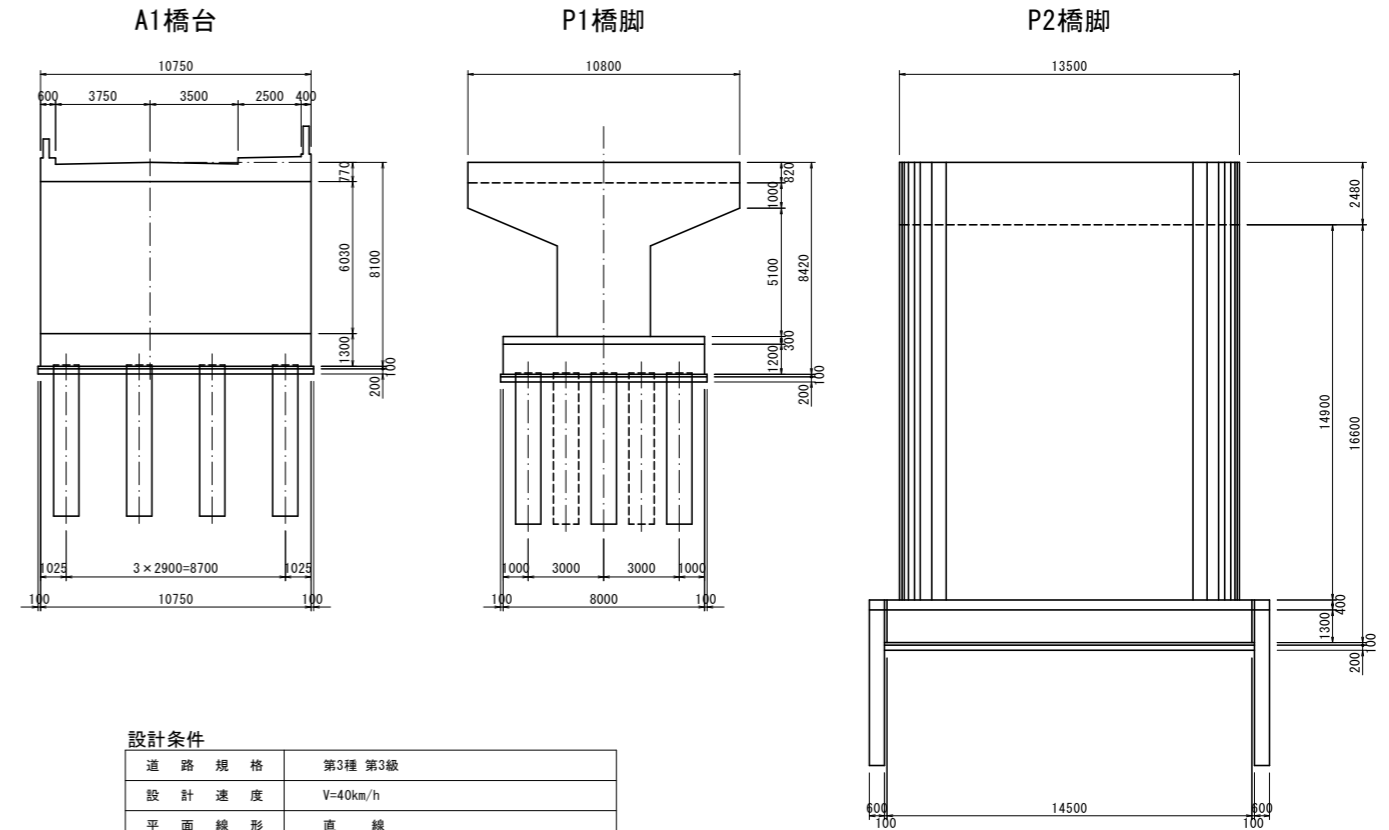


プレテン中空床版橋
(A1~P1: 第1径間)



ポステンT桁橋
(P1~P2: 第2径間)

下部工正面図 S=1:150



設計条件

道路規格	第3種 第3級
設計速度	V=40km/h
平面線形	直線
横断勾配	歩道 2.4% 車道 2.4%
型式	上部工: PCプレテン中空床版橋、PCポステンT桁橋 鋼(4+3)径間連続箱桁 下部工: 逆T式橋台 A1、A2 (ピアアバット) 張出式橋脚 P1、逆T式小判形橋脚 P2~P8 基礎工: 場所打杭基礎 A1、P1、A2 直接基礎 P2~P8
橋長	559.700m (44.700m + 515.000m)
支間	13.87、29.23、73.0+73.6+73.0、73.0+73.6+73.0
巾員	歩道 9.750m 車道 (2.500m + 7.250m)
活荷重	TL-20
設計水平震度	KH=0.15 (P4、P8の橋軸方向のみKH=0.18)
舗装	アスファルト舗装 車道最少厚 6cm 歩道 3cm
添加物	電力 2-φ150 45kg/m 電力 3-φ 75 36kg/m
使用部材	上部工: コンクリート 鋼材: PCプレテン 1T 12.4 1T 17.8 PCポステン 12T 12.4 1T 17.8 鋼箱桁 SS41、SM41、SM50、SM53 鉄筋 SD30 下部工: コンクリート σck=210kg/cm2 鋼材: 鉄筋 SD30
架橋位置	吉野川 左岸 68k/0+54.758m 右岸 68k/0+101.684m
斜角	右 86°
計画高水流量	14,000 m3/sec
計画高水位	左岸 AP 75.014 右岸 AP 75.053
計画堤防高	左岸 AP 77.014 右岸 AP 77.053
計画河床高	左岸 AP 62.933 右岸 AP 62.967
計画高水敷高	左岸 AP 70.314 右岸 AP 70.615~70.621
基準径間長	L=20+0.005×14000=90~70 m
桁下余裕高	H.W.L.に対して2.0m
阻害率	5%以下 > 30×3+37×2+36 / 510.2 × 100=3.9%
基礎の根入れ	P2、P3: 現河床最深处より 2m P4~P8: 計画河床より 2m A2: 計画高水敷より 2m

補修対策工一覧表

対象部材	補修工法	仕様・種別
上部工	鋼連続箱桁	当て板補修工 SM490YA-SM400A、TCB M22 (S10T)
	塗装工	F-15塗装系
下部工	支承	支承防錆工 Ra-III塗装系
	密着モルタル打替工	無収縮モルタル
橋面工	伸縮装置	伸縮装置取替工 車道用: 荷重支持型、ゴム+鋼製伸縮装置、有効伸縮量20mm 歩道用: 荷重支持型、ゴム+鋼製伸縮装置、有効伸縮量20mm
	伸縮装置補修工	伸縮装置補修工 堆積土砂撤去(車道部、歩道部)、高圧洗浄
	橋面防水	車道部: シート系防水 歩道部: 塗膜系防水
	排水管	排水管設置工 支持金具 VP200・VP125
	舗装	車道部: アスファルト舗装 t=30mm-60mm 歩道部: アスファルト舗装 t=30mm
	区間線	区間線工 車道中央線: 溶融式、黄色、実線、15cm 車道外側線: 溶融式、白色、実線、15cm

実施設計図面

三三大橋: 補修計画図

工事名	R6三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁補修工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東よし町加茂 (三三大橋)
図面名	補修一般図(その1)
縮尺	図示 図面番号 1 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成

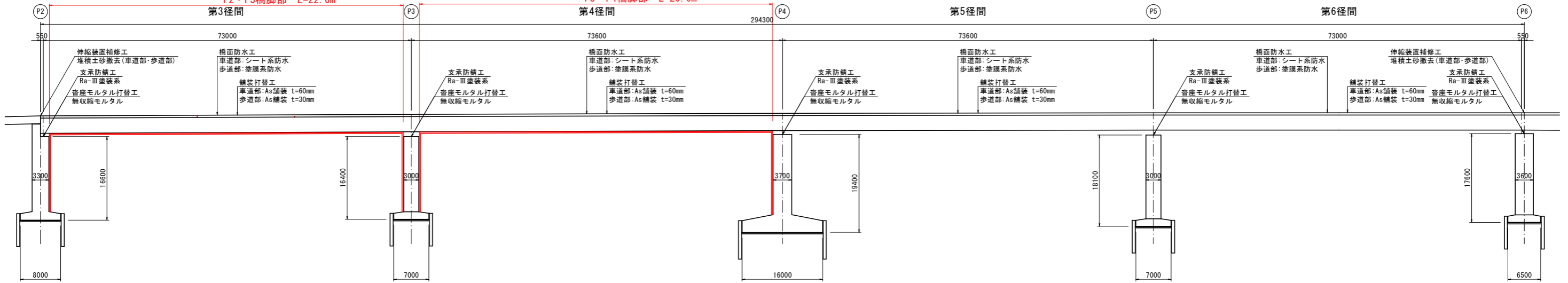
補修一般図(その2)

(4径間連続鋼箱桁橋区間:P2~P6[第3~第6径間])

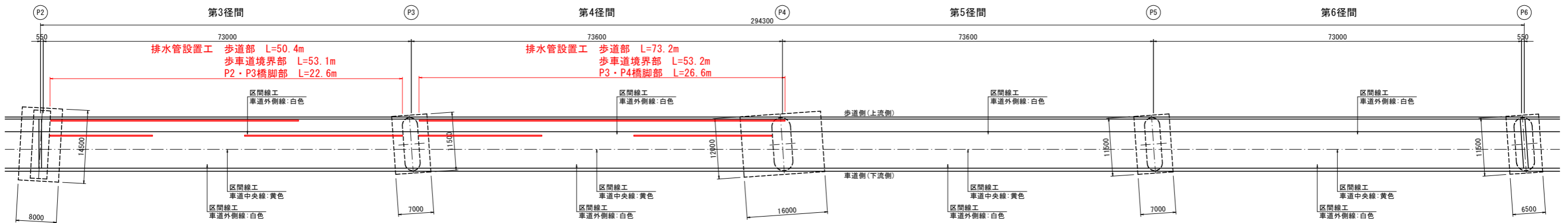
排水管設置工 歩道部 L=50.4m
歩車道境界部 L=53.1m
P2・P3橋脚部 L=22.6m

排水管設置工 歩道部 L=73.2m
歩車道境界部 L=53.2m
P3・P4橋脚部 L=26.6m

側面図 S=1:400

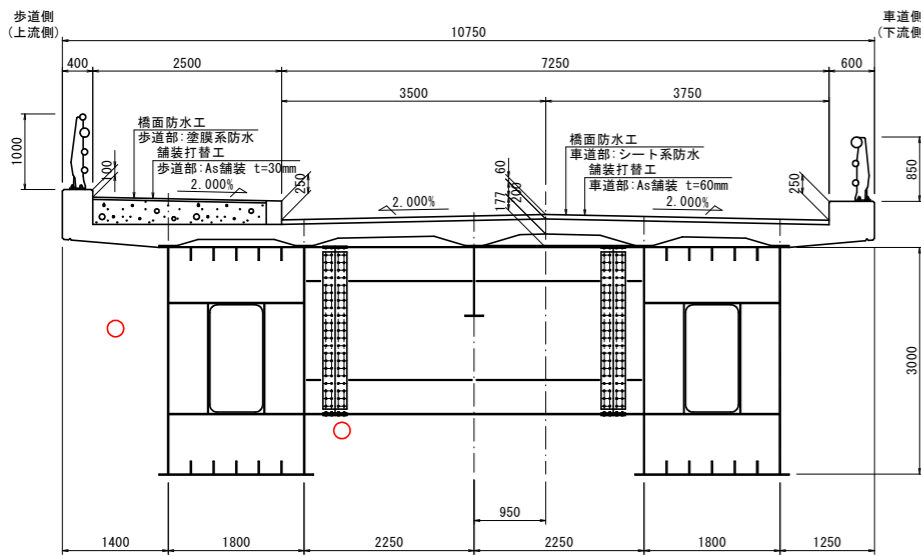


平面図 S=1:400

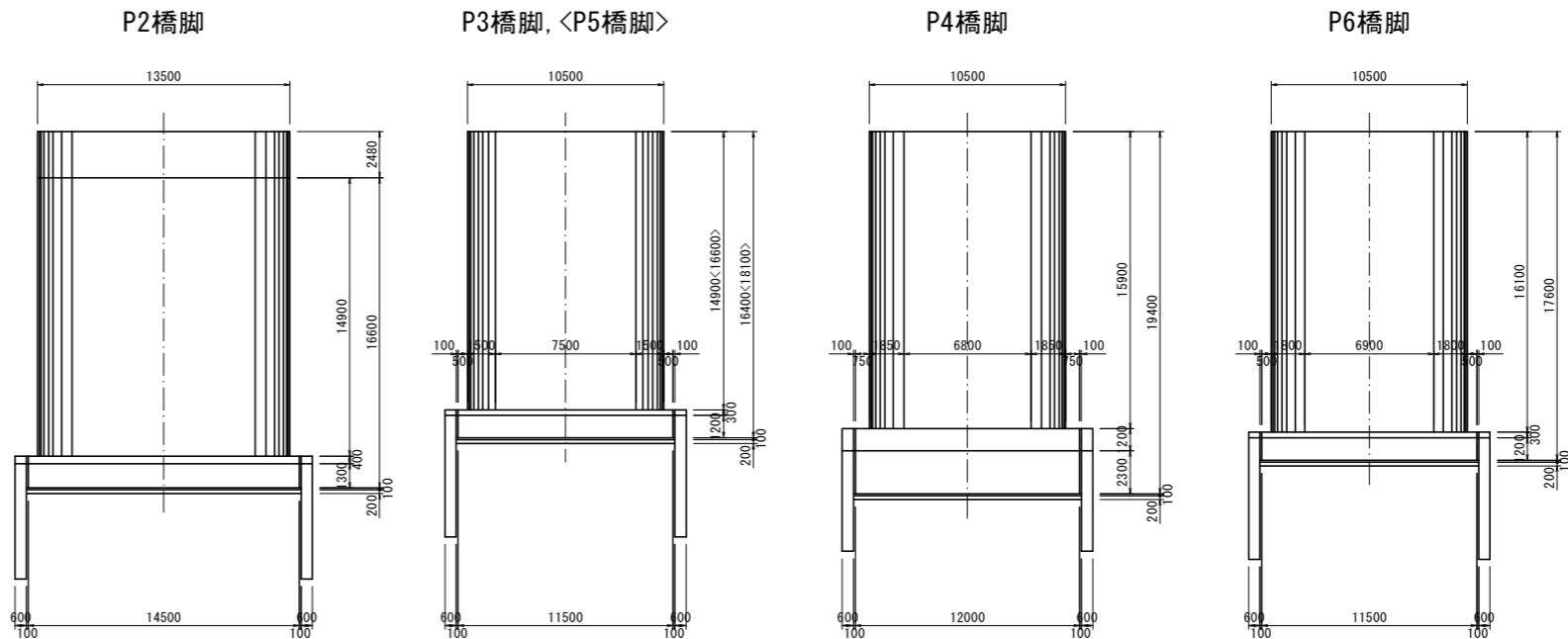


断面図 S=1:50

4径間連続鋼箱桁橋
(P2~P6:第3~第6径間)



下部工正面図 S=1:200



実施設計図面

三三大橋:補修計画図

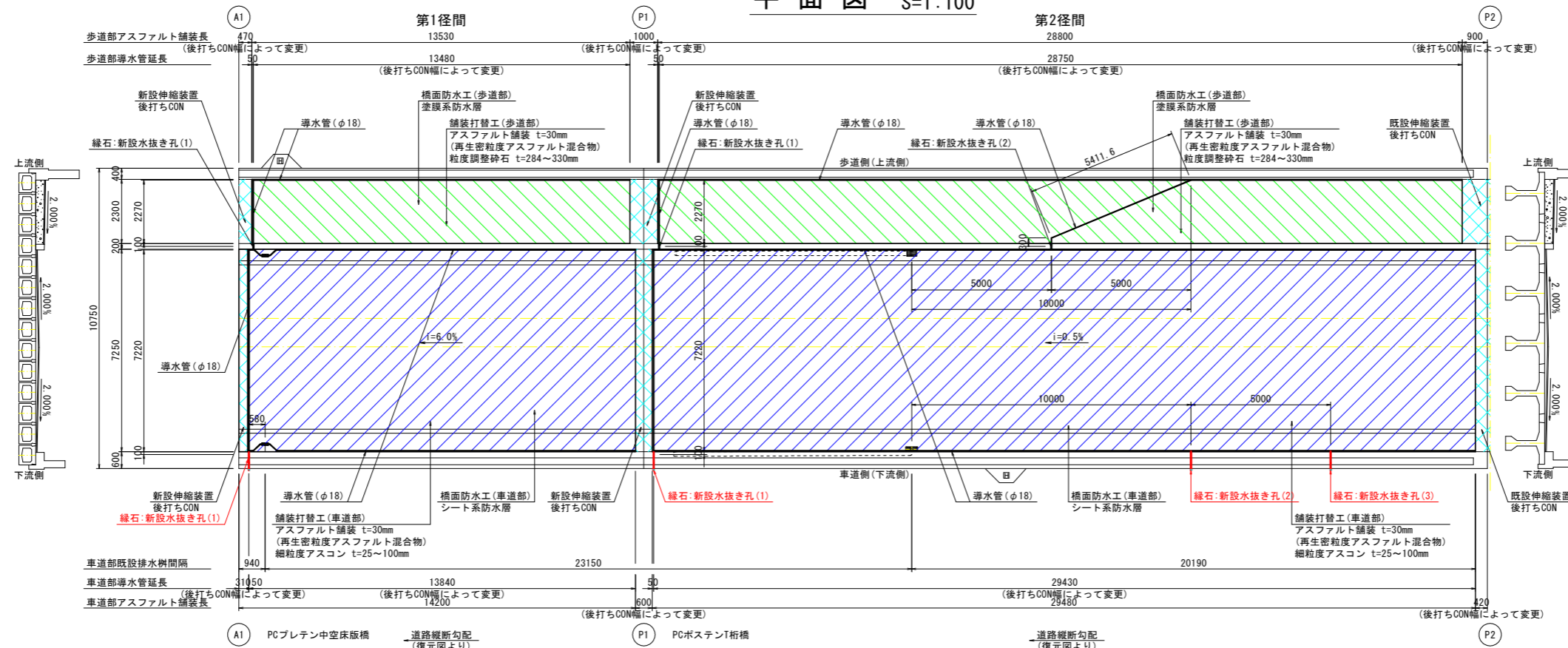
工事名	R6三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁補修工事(担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好町東みよし町加茂(三三大橋)
図面名	補修一般図(その2)
縮尺	図示 図面番号 2 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成

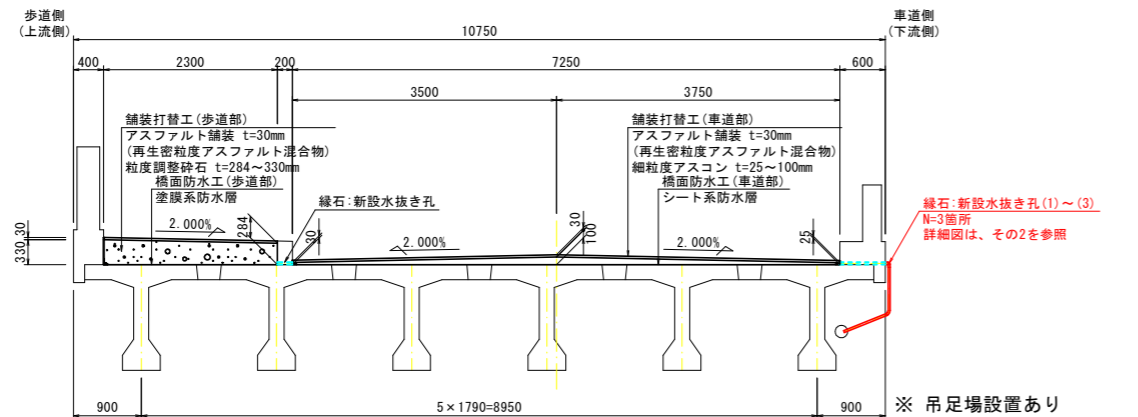
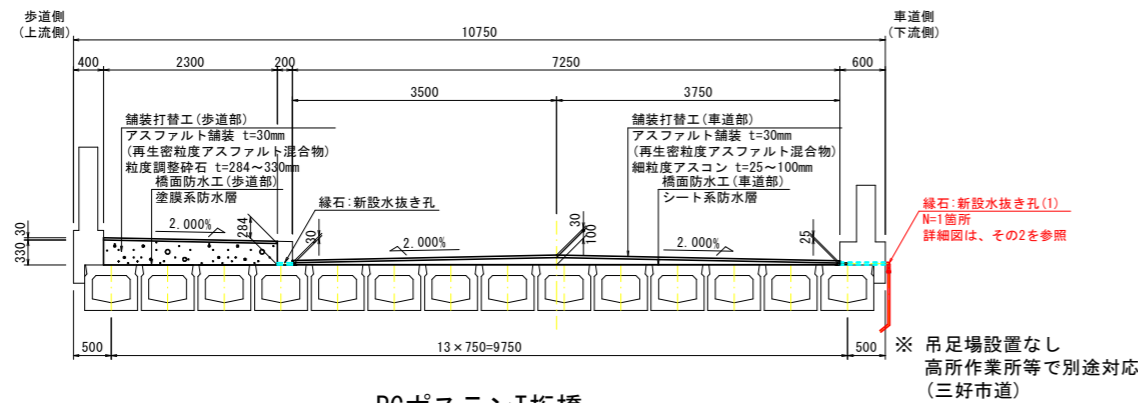
橋面防水工図(その1)

(PC橋区間:A1~P2[第1・第2径間])

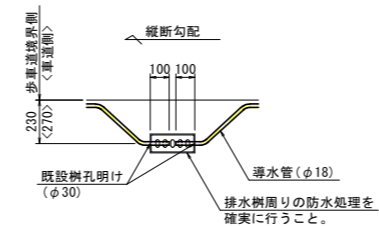
平面図 S=1:100



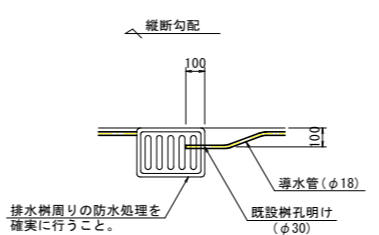
PCプレテン中空床版橋
(A1~P1:第1径間)



A1-P1間

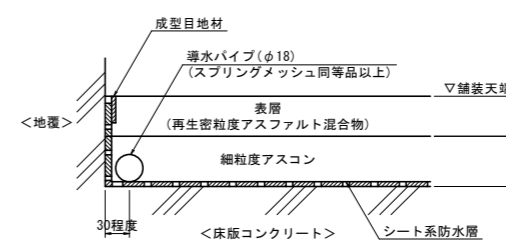


P1-P2間

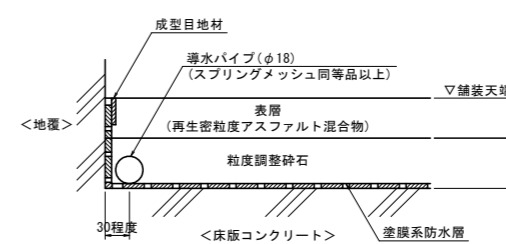


端部処理構造図

車道部



歩道部



注記
 1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. アスファルト舗装厚は、現地切削後確認し決定すること。

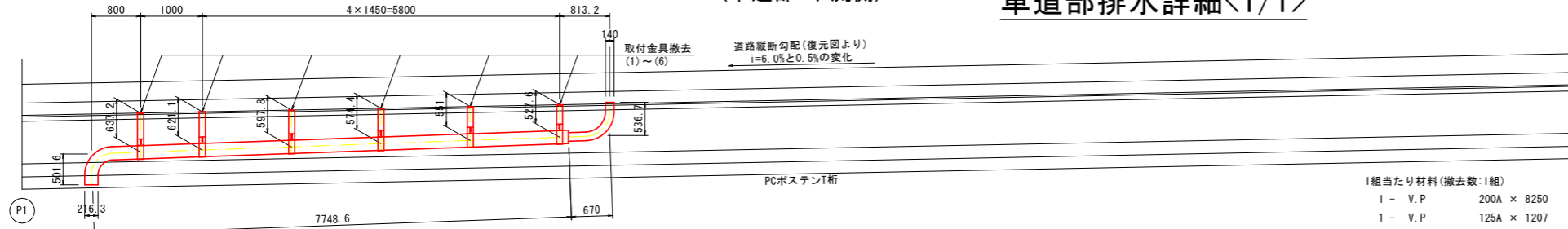
実施設計図面

三三大橋:補修計画図	
工事名	R6三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂 (三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その1)
縮尺	図示 図面番号 3 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

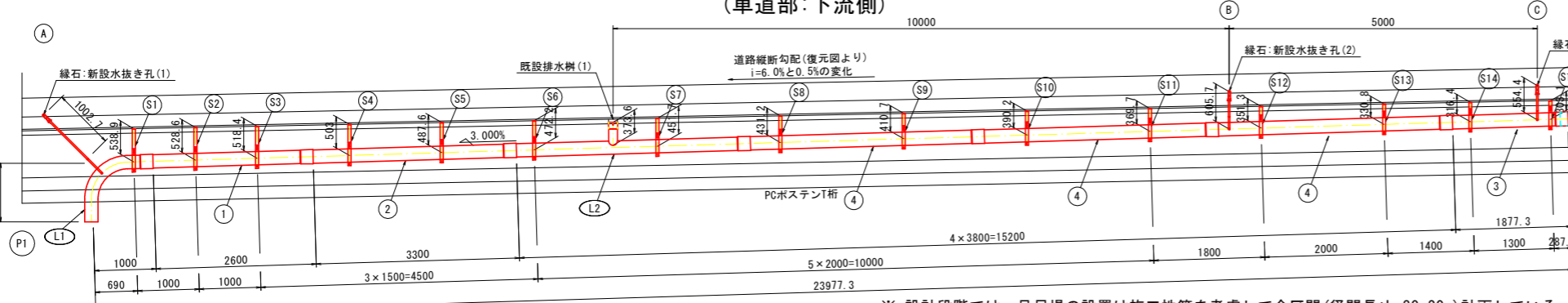
※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成
 A1~P2間のPC橋区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

橋面防水工図(その2)

撤去図 S=1:50 (PCポステンT桁橋区間:第2径間) (車道部:下流側) 車道部排水詳細<1/1>



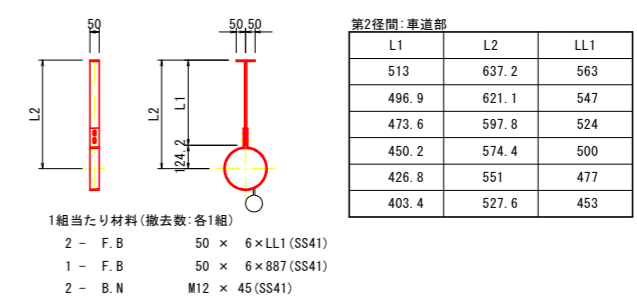
補修図 S=1:50 (車道部:下流側)



縁石水抜き孔詳細図

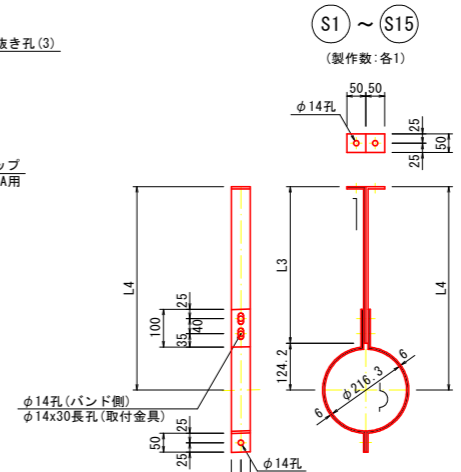
※ 設計段階では、吊足場の設置は施工性等を考慮して全区間(径間長:L=30.20m)計画している。

既設取付金具撤去詳細 S=1:20



第2径間:車道部	L1	L2	LL1
	513	637.2	563
	496.9	621.1	547
	473.6	597.8	524
	450.2	574.4	500
	426.8	551	477
	403.4	527.6	453

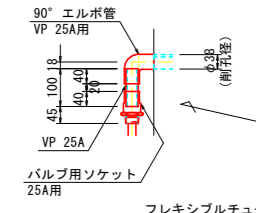
取付金具詳細 S=1:10



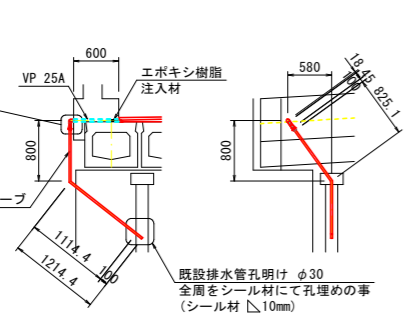
第2径間:車道部	L3	L4	LL2
(S1)	414.8	538.9	459
(S2)	404.5	528.6	448
(S3)	394.3	518.4	438
(S4)	378.9	503	423
(S5)	363.5	487.6	407
(S6)	348.1	472.2	392
(S7)	327.6	451.7	372
(S8)	307.1	431.2	351
(S9)	286.6	410.7	331
(S10)	266.1	390.2	310
(S11)	245.6	369.7	290
(S12)	227.2	351.3	271
(S13)	206.7	330.8	251
(S14)	192.3	316.4	236
(S15)	179	303.1	223

※ 取付金具は、現場塗装を行わない。

詳細図 S=1:10

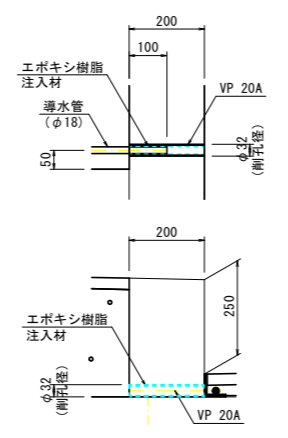


車道部(A1橋台) S=1:50 N=1箇所



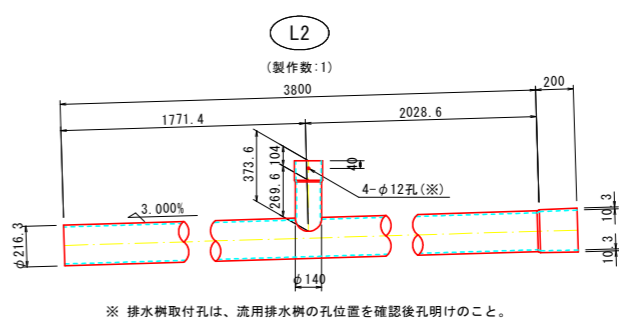
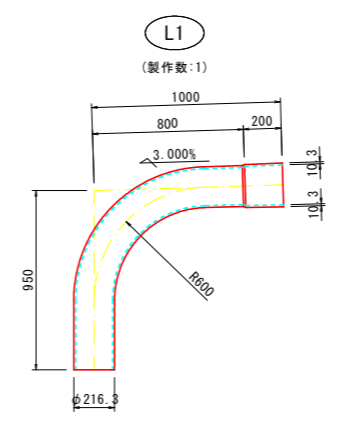
- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - V.P 25A x 600
 - 1 - V.P 25A x 100
 - 1 - 90° エルボ管 V.P25A用
 - 1 - パルプ用ソケット 25A用
 - 1 - 削孔 φ38 x 600
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=2040mm(SUS304)
 - 1 - エポキシ樹脂注入材 W=0.03kg 1200kg/m3

歩道部(A1橋台・P1橋脚) S=1:10



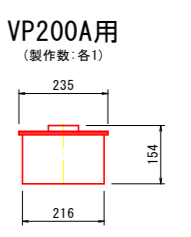
- 1箇所当り材料(製作数:A1橋台=1組,P1橋脚=2組)
- 1 - V.P 20A x 200
 - 1 - 削孔 φ32 x 200
 - 1 - エポキシ樹脂注入材 W=0.01kg 1200kg/m3

加工管詳細 S=1:20

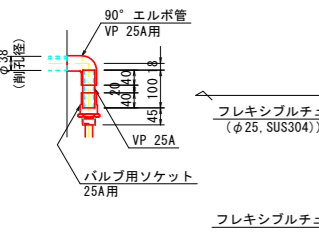


※ 排水管取付孔は、流用排水管の孔位置を確認後孔明けのこと。

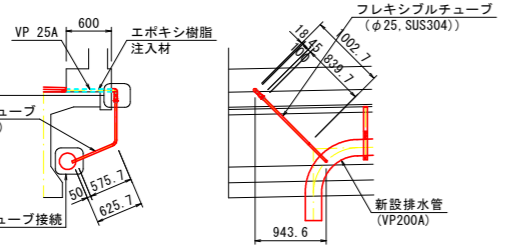
キャップ詳細 S=1:10



詳細図 S=1:10

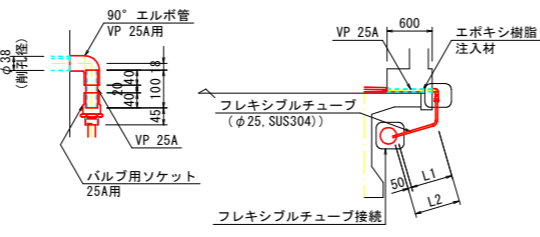


車道部(P1~P2間) S=1:50 N=3箇所



- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - V.P 25A x 600
 - 1 - V.P 25A x 100
 - 1 - 90° エルボ管 V.P25A用
 - 1 - パルプ用ソケット 25A用
 - 1 - 削孔 φ38 x 600
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=1470mm(SUS304)
 - 1 - エポキシ樹脂注入材 W=0.03kg 1200kg/m3

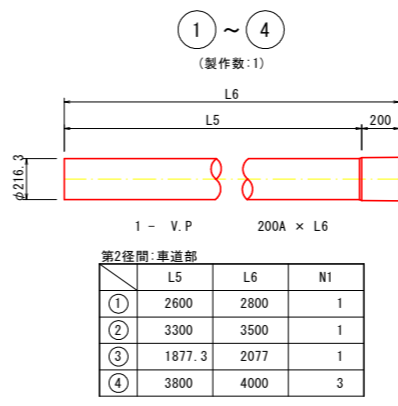
詳細図 S=1:10



- 1箇所当り材料(製作数:各1)
- 1 - V.P 25A x 600
 - 1 - V.P 25A x 100
 - 1 - 90° エルボ管 V.P25A用
 - 1 - パルプ用ソケット 25A用
 - 1 - 削孔 φ38 x 600
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=890(880)mm(SUS304)
 - 1 - エポキシ樹脂注入材 W=0.03kg 1200kg/m3

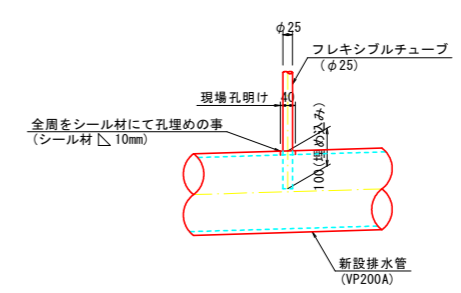
	L1	L2
(B)	552	602
(C)	539.9	589.9

直管詳細 S=1:20



第2径間:車道部	L5	L6	N1
(1)	2600	2800	1
(2)	3300	3500	1
(3)	1877.3	2077	1
(4)	3800	4000	3

フレキシブルチューブ 接続詳細 S=1:10



※ 新設排水管は、現場塗装を行わない。

- 注記
- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 - 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 - ボルト・ナットは全て緩み止めの物を使用する。
 - ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。

実施設計図面

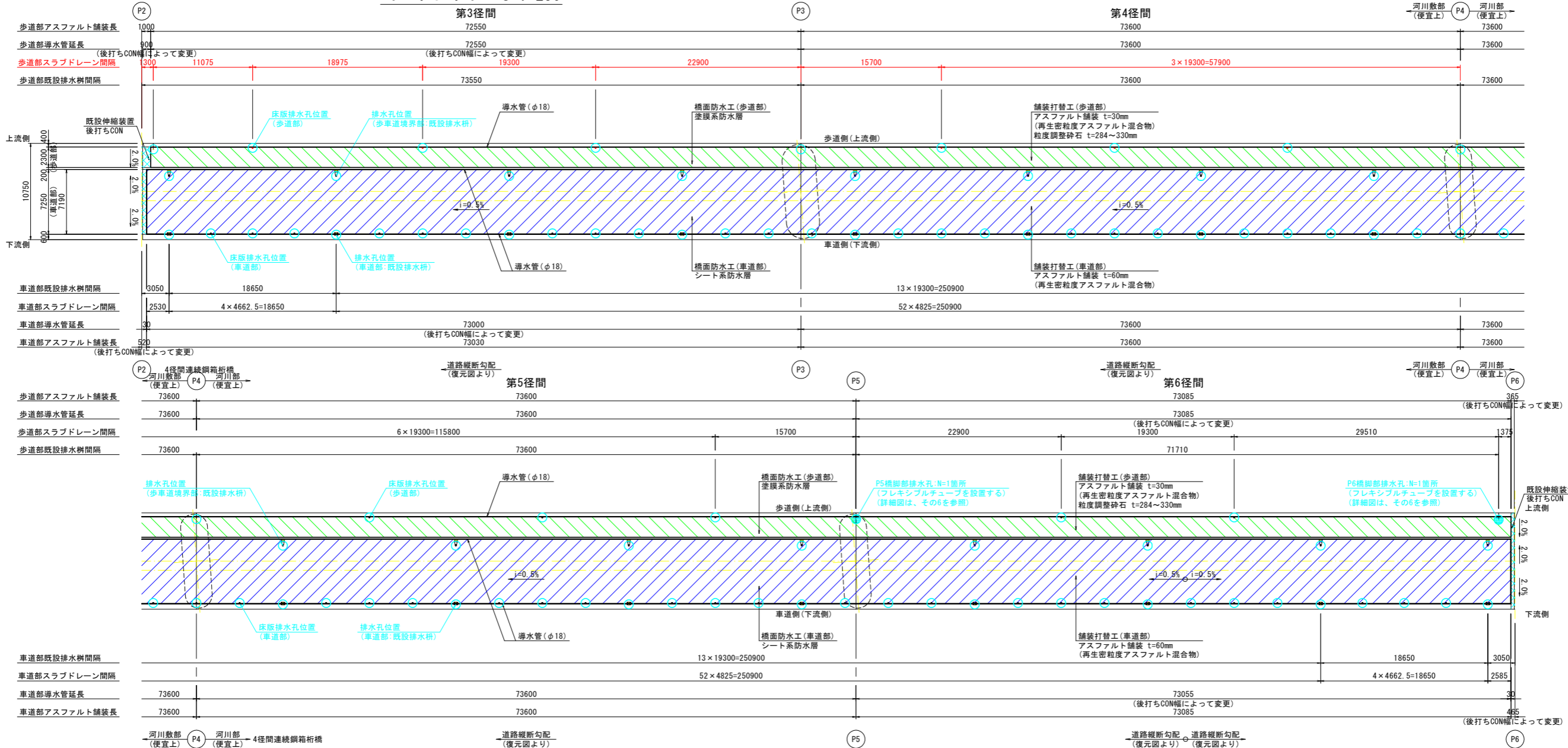
三三大橋:補修計画図	
工事名	R 6三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁補修工事(担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好東よし町加茂(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その2)
縮尺	図示 図面番号 4 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成 A1~P2間のPC橋区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

橋面防水工図(その3)

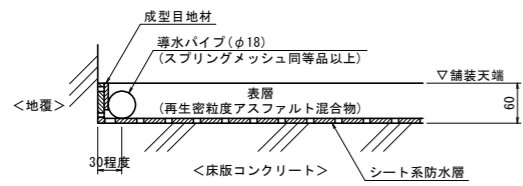
(4径間連続鋼箱桁橋区間:P2~P6[第3~第6径間])

平面図 S=1:250

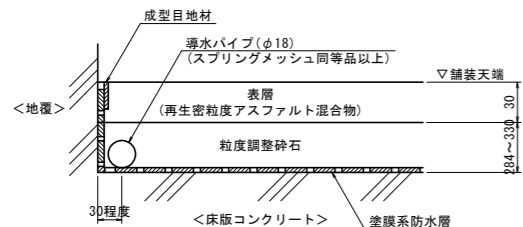


端部処理構造図

車道部

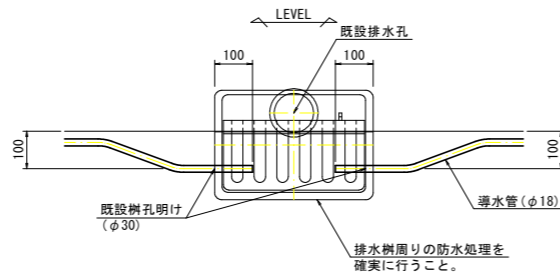


歩道部



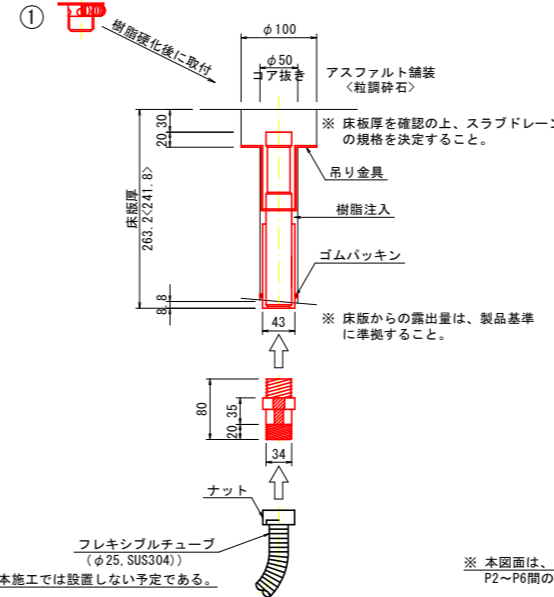
既設樹との取合い S=1:10

車道部



床版排水孔詳細図 S=1:5

(参考図: 既設橋用)



縦断勾配	設置間隔(m)
1%以下	5
1%を超える場合	10

「道路橋床版防水システムガイドライン2016」
：(公社)土木学会、平成28年10月(2016年)、P29

床版新設排水孔の設置について
・車道部(下流側)の床版新設排水孔の設置は、上表に準拠して縦断勾配よりH#5m程度とした。
・ただし、歩道部(上流側)の床版新設排水孔の設置は、流水面積が少ない等を考慮して、既設排水桁間隔と同間隔(H#20m程度)とした。床版新設排水孔の設置位置は、既設の排水桁と排水桁の間とした。

流末排水処理(河川保安区域:P4橋脚より手前)について
・国土交通省の堤防工事が進行中のため、河川保安区域が確定しないが、河川保安区域を考慮して横引き用排水管を設置した。
・横引き用設置区間は、P4橋脚より手前とした。
・歩道部の横引き用排水管(鋼箱桁内側)は、設置箇所が鋼箱桁内側でかつ、横桁が設置されている。また、排水管設置位置を鋼箱桁下面に納めるため、二方向に排水勾配を設けた。

流末排水処理(河川区域:P4橋脚より奥)について
・車道部(下流側)は、床版新設排水孔の設置間隔がH#5m程度のため、設置箇所が多い。
・1箇所づつフレキシブルチューブを設置することが望ましいが、1)吉野川を渡河する橋梁であるため、H#5m程度間隔にフレキシブルチューブが置かれることは景観上あまりよろしくない、2)5年に1回橋梁定期点検を実施するため、鋼箱桁への水掛り状況を確認することができる等を考慮して、河川区域の床版排水孔にはフレキシブルチューブの設置は基本行わない。

ただし、本設計では今後の設置を考慮して、設計図面にはフレキシブルチューブを設置を明記している。
・歩道部(上流側)は、床版新設排水孔の設置箇所が少ないため、フレキシブルチューブの設置を行う。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三好三好線 三三三橋」の復元図から想定で作成
P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

注記

1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
3. アスファルト舗装厚は、現地切削後確認上決定すること。
4. 床版を削孔する際は、事前に鉄筋探査を行い鉄筋を傷つけないように注意すること。
5. 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図:工事図面)はある。
4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三三橋:補修計画図

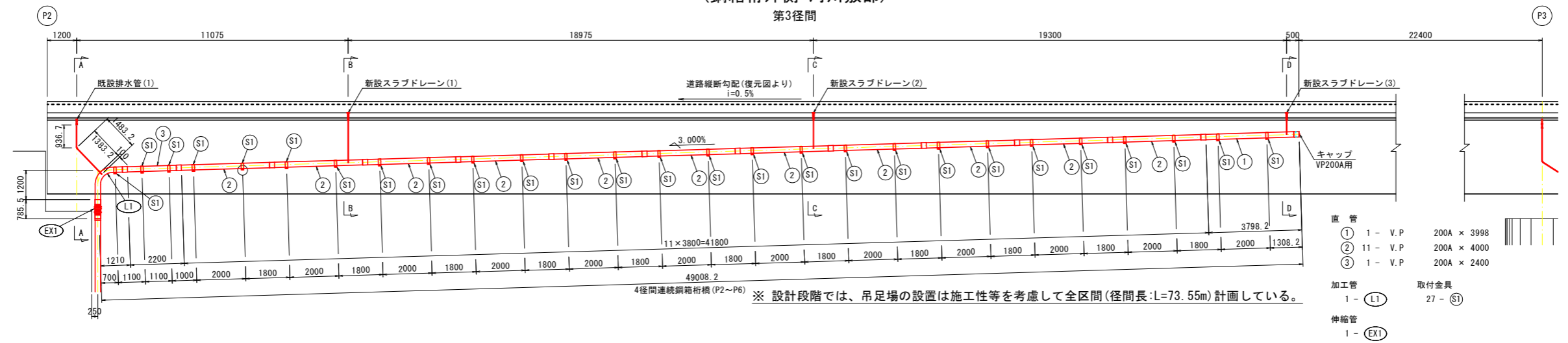
工事名	R 6三三 三好三好線 (三三三橋) 東・加茂 橋梁補修工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三好三好線
工事箇所	三好東よし町加茂(三三三橋)
図面名	橋面防水工図(その3)
縮尺	図示 図面番号 5 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合農林局農土整備部 <三好>

橋面防水工図(その4)

(4径間連続鋼箱桁橋区間:第3径間)

歩道張出部排水詳細<1/3> S=1:100

(鋼箱桁外側:河川敷部)



- 直管
- ① 1 - V.P 200A × 3998
 - ② 11 - V.P 200A × 4000
 - ③ 1 - V.P 200A × 2400
- 加工管 取付金具
- 1 - L1 27 - S1
- 伸縮管
- 1 - EX1

※ 設計段階では、吊足場の設置は施工性等を考慮して全区間(径間長:L=73.55m)計画している。

A - A S=1:50

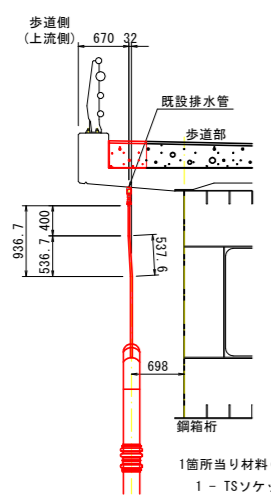
N=4箇所

B - B S=1:50

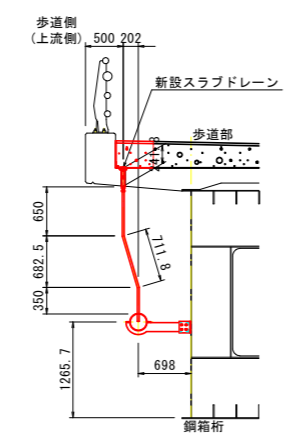
直管詳細 S=1:50

加工管詳細 S=1:50

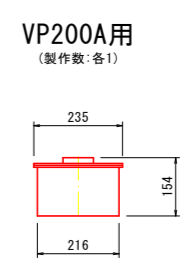
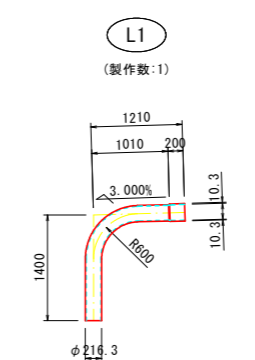
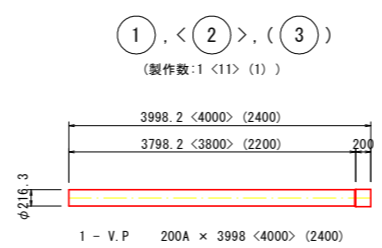
キャップ詳細 S=1:10



- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - TSソケット 40 × 25用
 - 1 - V.P 25A × 100
 - 1 - バルブ用ソケット 25A用
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=2430mm(SUS304)



- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブドレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=1820mm(SUS304)

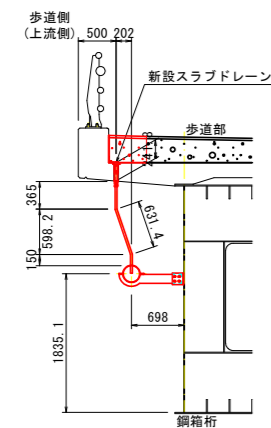


C - C S=1:50

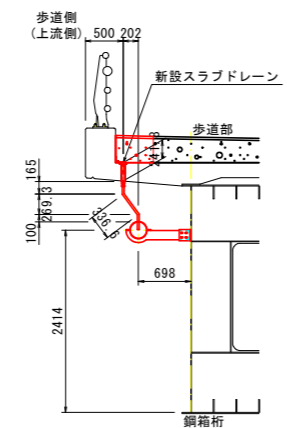
D - D S=1:50

既設排水管 接続詳細 S=1:10

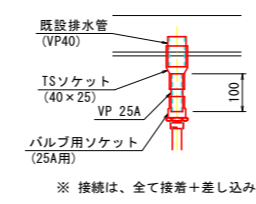
フレキシブルチューブ 接続詳細 S=1:10



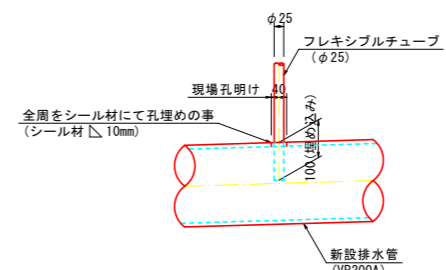
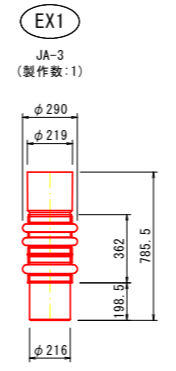
- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブドレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=1250mm(SUS304)



- 1箇所当り材料(製作数:1)
- 1 - 削孔 φ50~φ100 L=242mm
 - 1 - スラブドレーン(スラブ厚 240~350用)
 - 1 - 充填材(エポキシ樹脂) W=0.14kg 1200kg/m³
 - 1 - フレキシブルチューブ φ25 L=710mm(SUS304)



伸縮管詳細 S=1:20



注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図:工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁横手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面	
工事名	R 6 三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その4)
縮尺	図示 図面番号 6 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 取付金具詳細図:S1は、その5を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

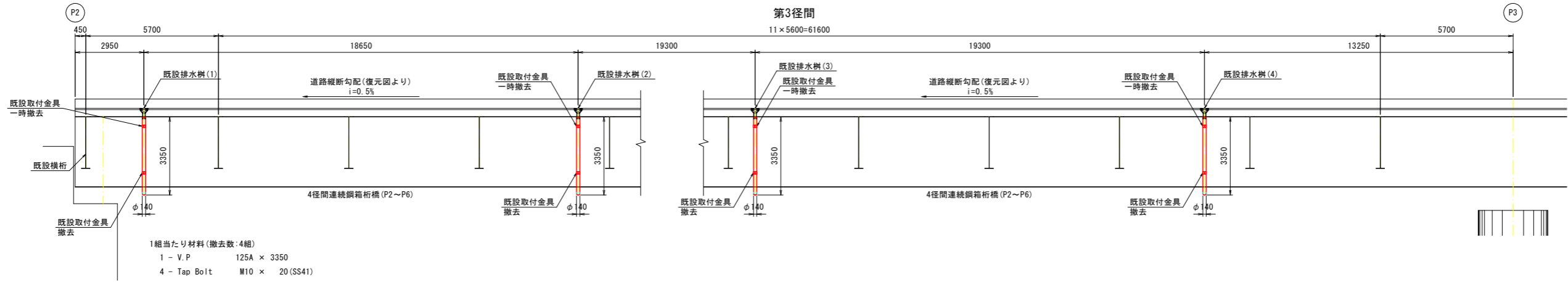
橋面防水工図(その7)

(4径間連続鋼箱桁橋区間: 第3径間)

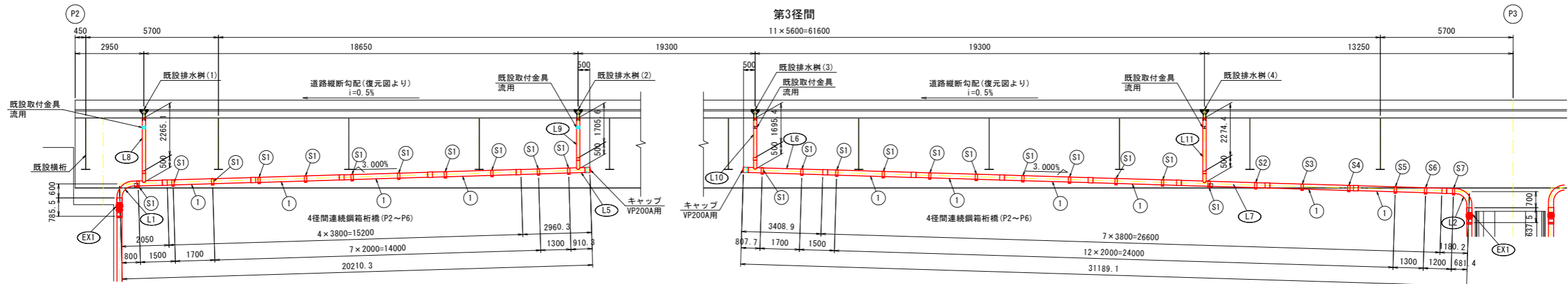
歩車道境界部排水詳細<1/3> S=1:100

(鋼箱桁内側: 河川敷部)

撤去図



補修図



※ 設計段階では、吊足場の設置は施工性を考慮して全区間(径間長:L=73.55m)計画している。

- 直管
① 4 - V.P 200A × 4000
- 加工管
1 - L1
1 - L5
1 - L8
1 - L9
- 伸縮管
1 - EX1
- 取付金具
11 - S1

- 直管
① 6 - V.P 200A × 4000
- 加工管
1 - L2
1 - L6
1 - L7
1 - L10
1 - L11
- 伸縮管
1 - EX2
- 取付金具
11 - S1
1 - S2
1 - S3
1 - S4
1 - S5
1 - S6
1 - S7

注記
 1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図:工事図面)はある。
 4. 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
 このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R 6 三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三大橋)		
図面名	橋面防水工図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>		

※ 取付金具詳細図:S1~S7は、その9を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成
P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

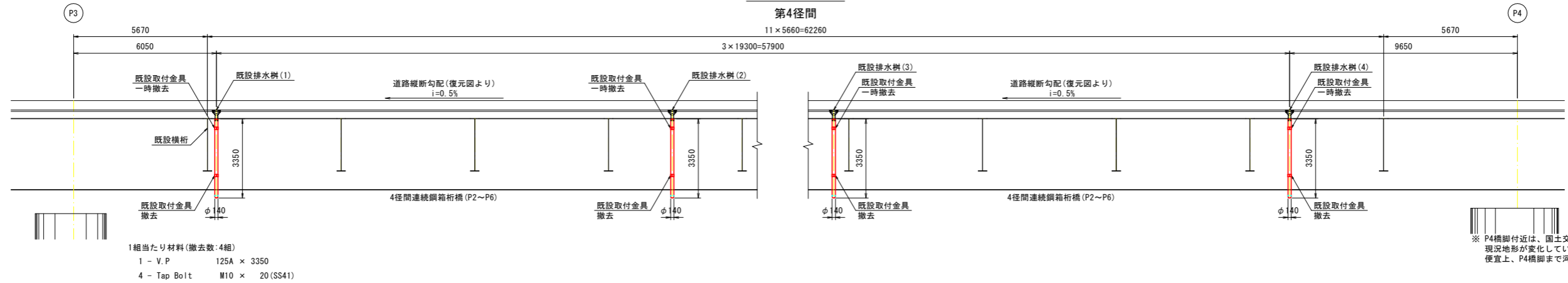
橋面防水工図(その8)

(4径間連続鋼箱桁橋区間: 第4径間)

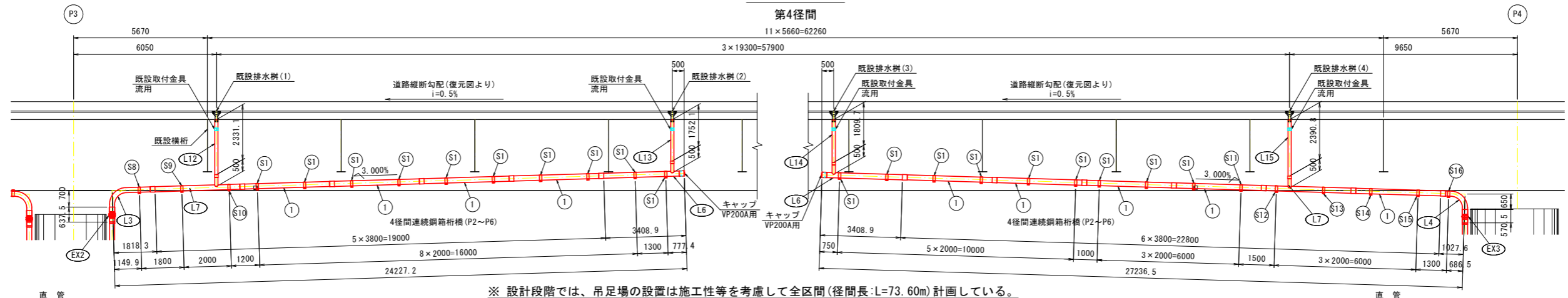
歩車道境界部排水詳細<2/3> S=1:100

(鋼箱桁内側: 河川敷部)

撤去図



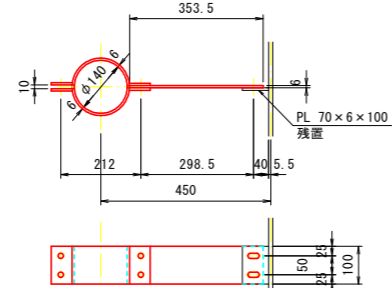
補修図



既設取付金具撤去詳細 S=1:10

(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部] 第3・第4径間)

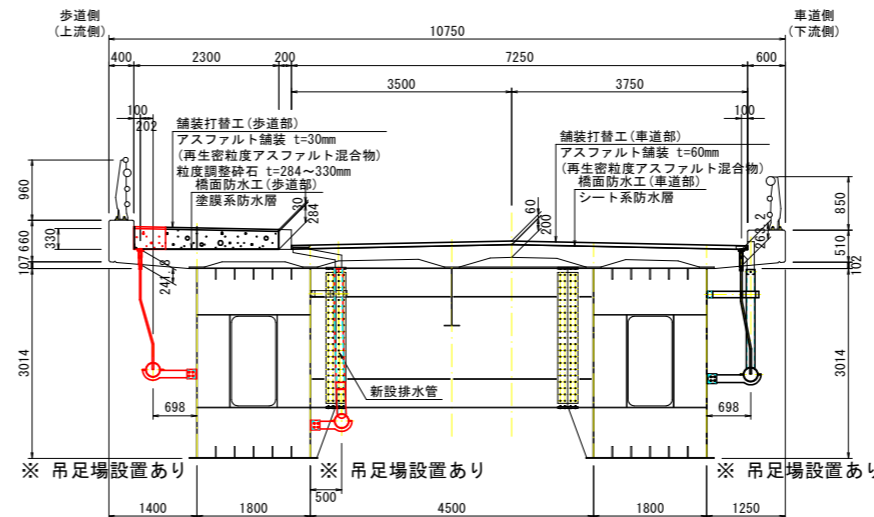
- 直管 ① 4 - V.P 200A × 4000
- 加工管 ① L3 ① L6 ① L7 ① L12 ① L13
- 伸縮管 1 - EX2
- 取付金具 ⑩ S1 ① S8 ① S9 ① S10 ① S16



- 1組当たり材料(撤去数:P2-P3間=4組, P3-P4間=4組)
- 2 - F.B 100 × 6 × 330 (SS41)
- 1 - F.B 100 × 6 × 354 (SS41)
- 4 - B.N M12 × 40 (SS41)
- 2 - B.N M12 × 30 (SS41)
- 4 - B.N M12 × 40 (SS41)
- 2 - B.N M12 × 30 (SS41)
- 1組当たり材料(一時撤去復旧数:P2-P3間=4組, P3-P4間=4組)
- 2 - F.B 100 × 6 × 330 (SS41)
- 1 - F.B 100 × 6 × 354 (SS41)
- 1組当たり材料(製作数:P2-P3間=4組, P3-P4間=4組)
- 2 - B.N M12 × 45 (SS400) (2W, UNut付)
- 2 - B.N M12 × 40 (SS400) (2W, UNut付)
- 2 - B.N M12 × 35 (SS400) (2W, UNut付)

断面図 S=1:60

(4径間連続箱桁橋:P2~P4[河川敷部] 第3・第4径間)



- 直管 ① 5 - V.P 200A × 4000
- 加工管 ① L4 ① L6 ① L7 ① L14 ① L15
- 伸縮管 1 - EX3
- 取付金具 ⑨ S1 ① S11 ① S12 ① S13 ① S14 ① S15 ① S16

注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図:工事図面)はある。
- 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁横手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかるとのこと。

実施設計図面	
三三大橋:補修計画図	
工事名	R 6三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その8)
縮尺	図示 図面番号 9 / 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 取付金具詳細図:S1-S8~S16は、その9を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

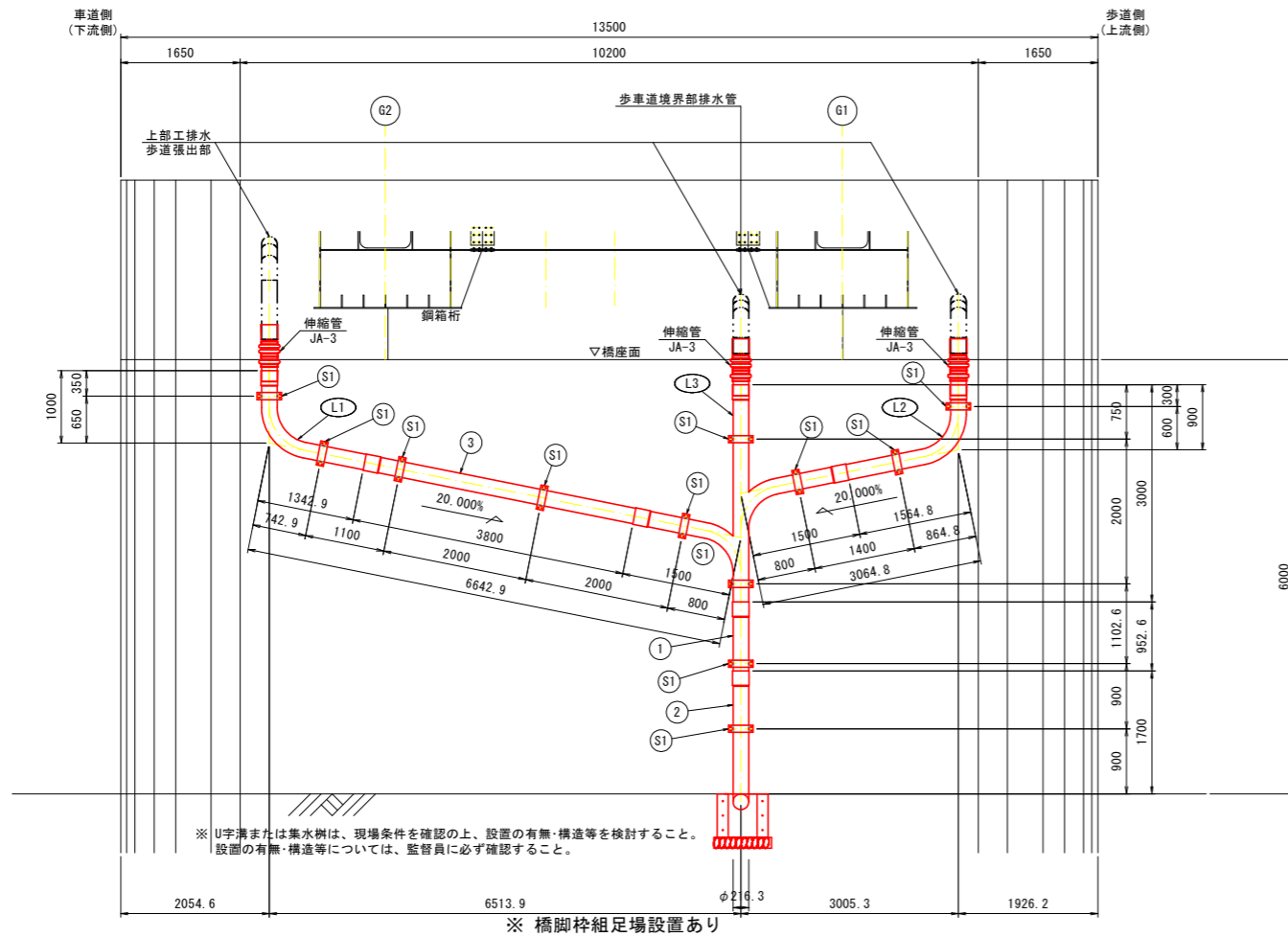
橋面防水工図(その13)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

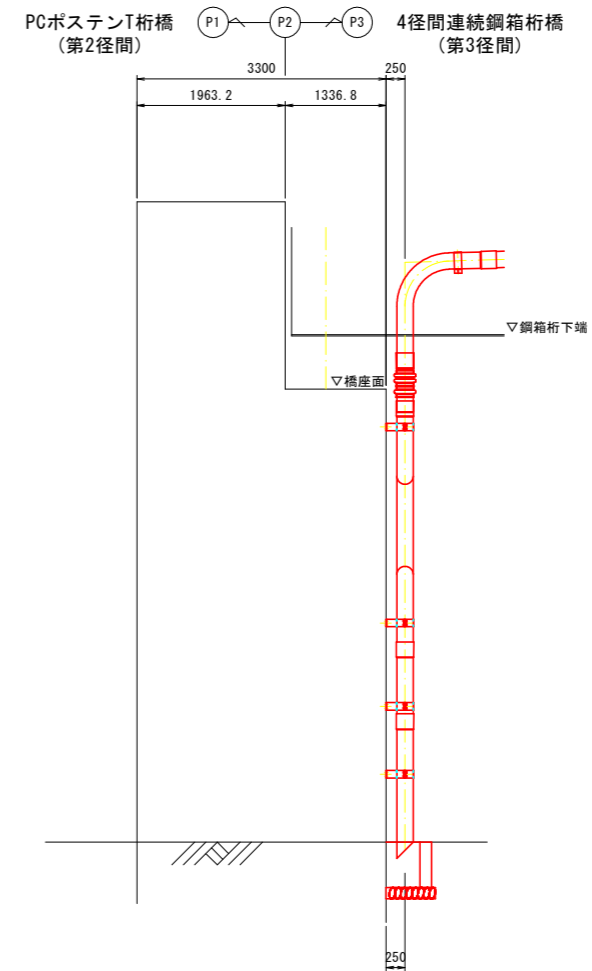
下部工排水詳細<1/4> S=1:50

P2橋脚:河川敷部(第3径間)

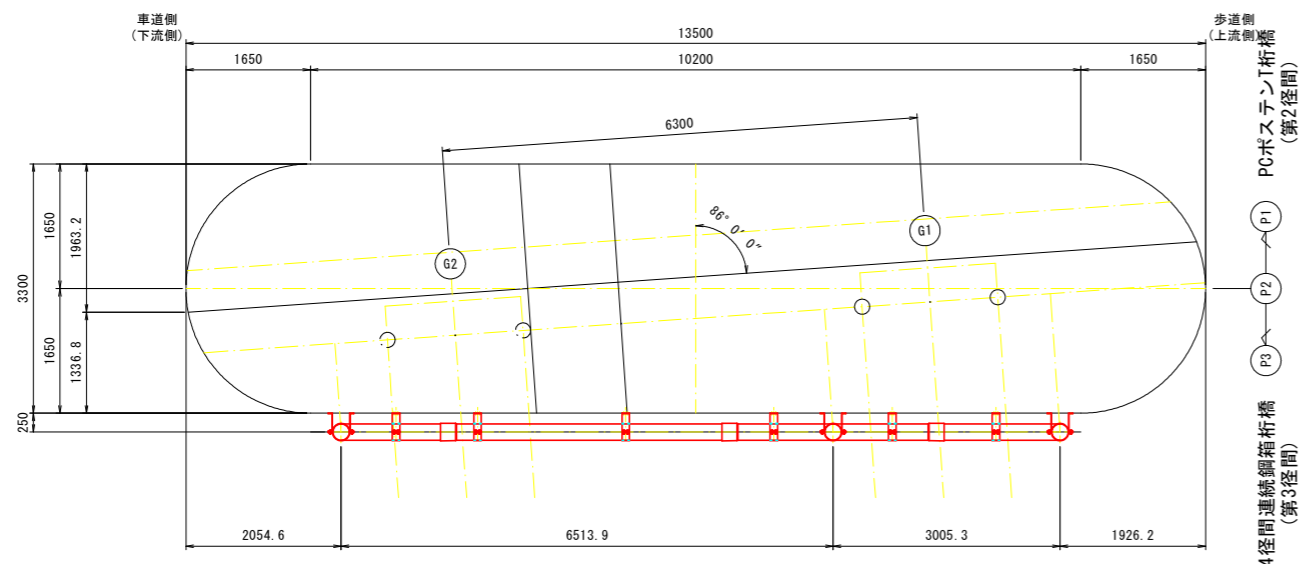
正面図



側面図



平面図



- 直管
- ① 1 - V.P 200A × 1153
 - ② 1 - V.P 200A × 1916
 - ③ 1 - V.P 200A × 4000
- 加工管
- 1 - L1
 - 1 - L2
 - 1 - L3
- 取付金具
- 12 - S1

- 注記
1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. 第3径間～第6径間(P2橋脚～P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間～第9径間(P6橋脚～A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
 4. 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間～第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
- このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R 6 三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂 (三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その13)
縮尺	図示 図面番号 11/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 伸縮管(JA-3)の数量は、歩道張出部・歩車道境界部・車道部で計上。
 ※ 取付金具詳細図:S1は、その16を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成
 P2～P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

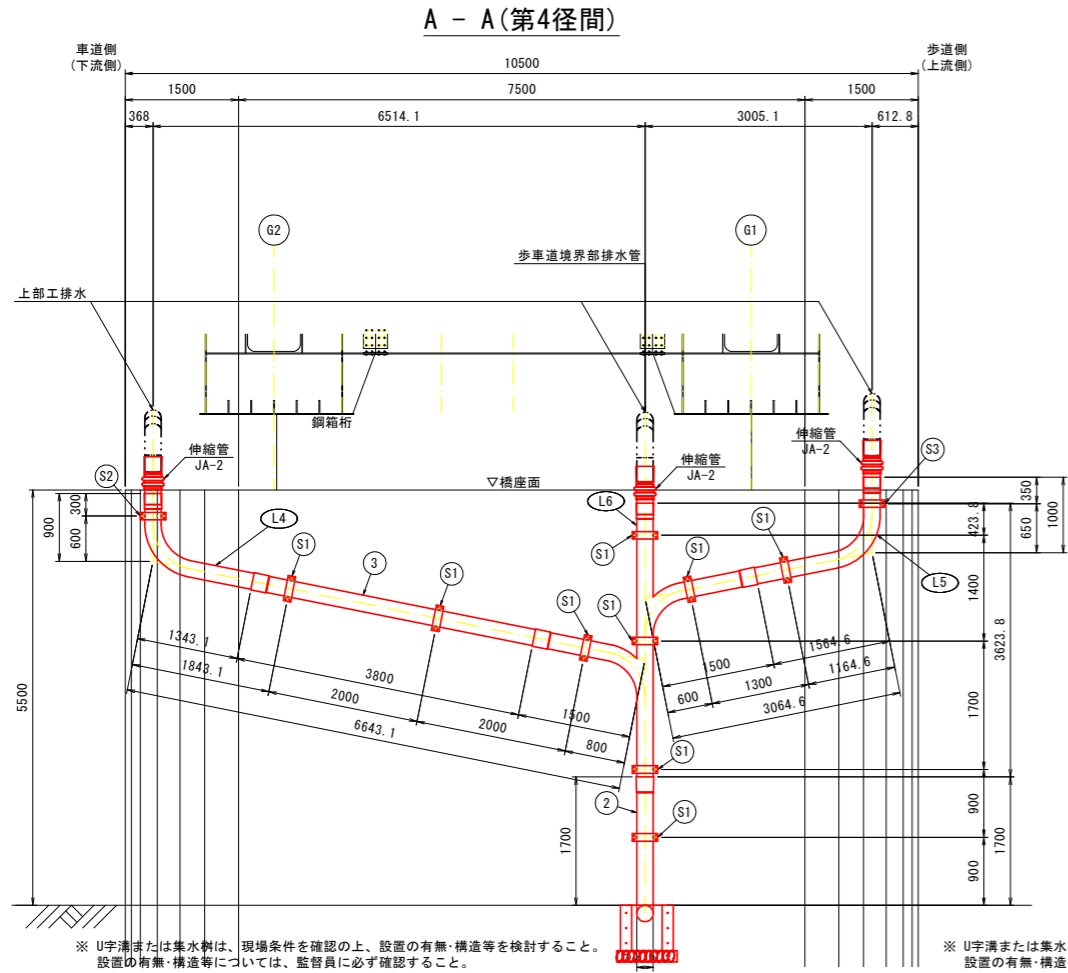
橋面防水工図(その14)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

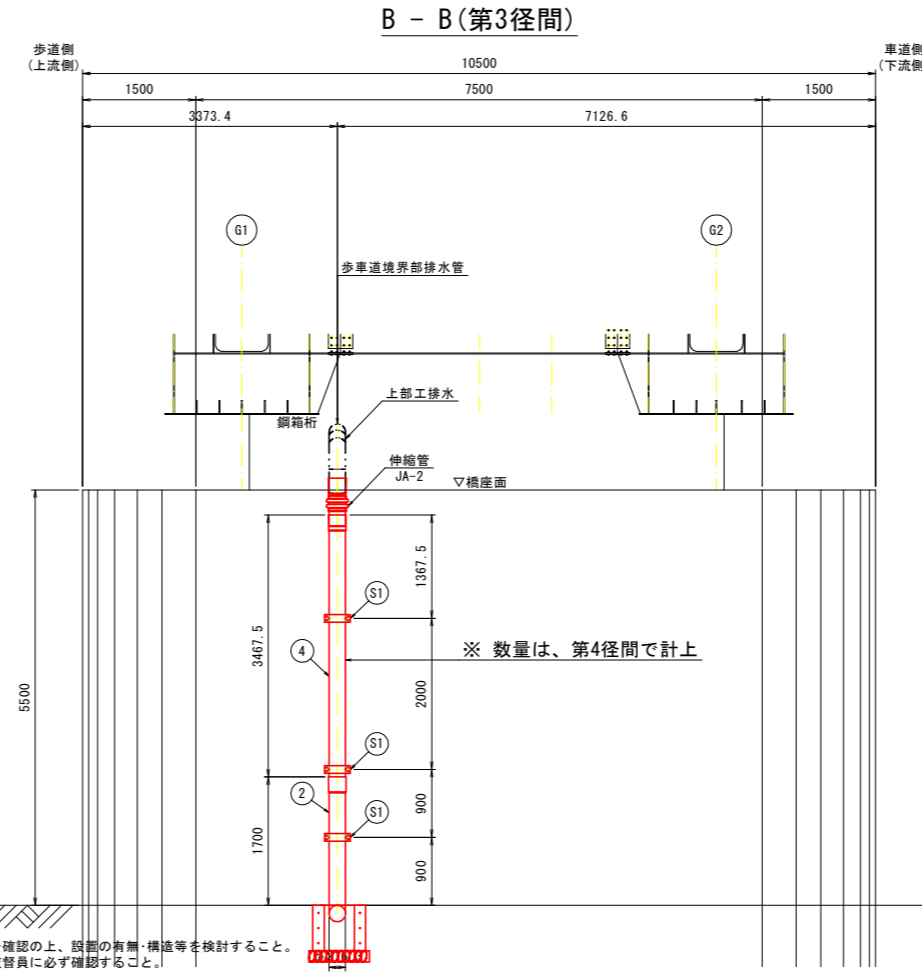
下部工排水詳細<2/4> S=1:50

P3橋脚:河川敷部(第4径間)

正面図

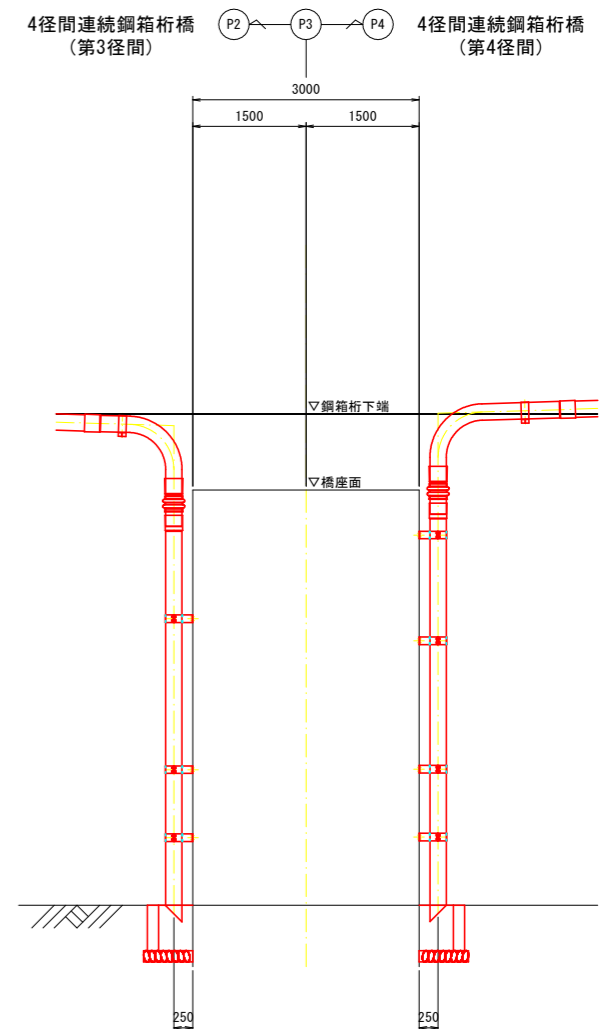


※ 橋脚柱組足場設置あり

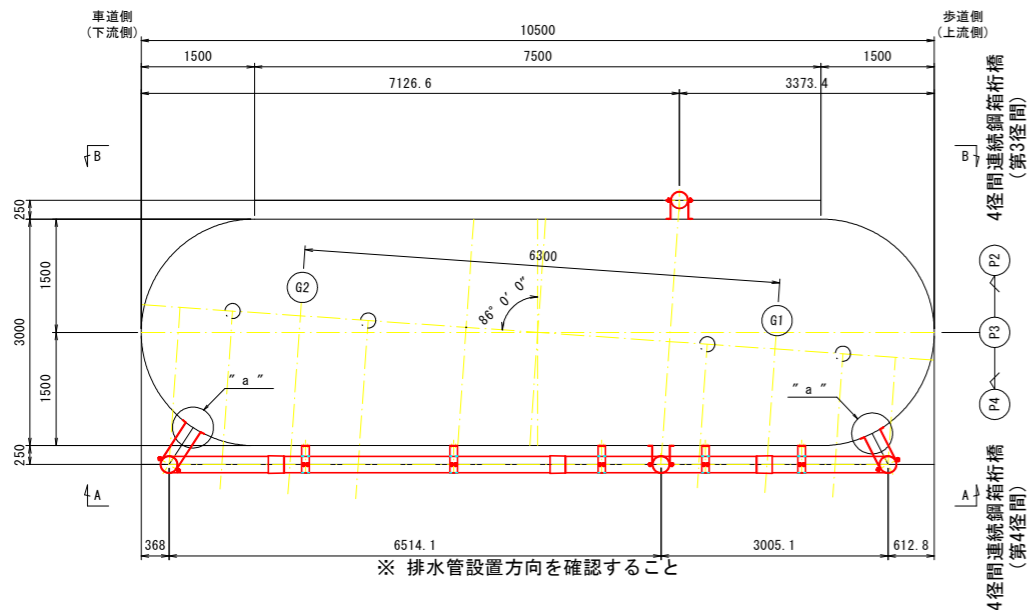


※ 橋脚柱組足場設置あり

側面図



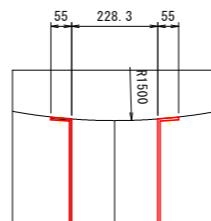
平面図



※ 排水管設置方向を確認すること

直管		
②	2 - V.P	200A × 1916
③	1 - V.P	200A × 4000
④	1 - V.P	200A × 3668
加工管		取付金具
1 - (L4)		12 - (S1)
1 - (L5)		1 - (S2)
1 - (L6)		1 - (S3)

"a"部詳細 S=1:10



注記
 1. 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 2. 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 3. 第3径間～第6径間(P2橋脚～P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間～第9径間(P6橋脚～A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間～第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁橋手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
 このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注・加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図			
工事名	R6三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東よし町加茂(三三大橋)		
図面名	橋面防水工図(その14)		
縮尺	図示	図面番号	12/16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>		

※ 伸縮管(JA-3)の数量は、歩道張出部・歩車道境界部・車道部で計上。
 ※ 取付金具詳細図:S1～S3は、その16を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成
 P2～P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

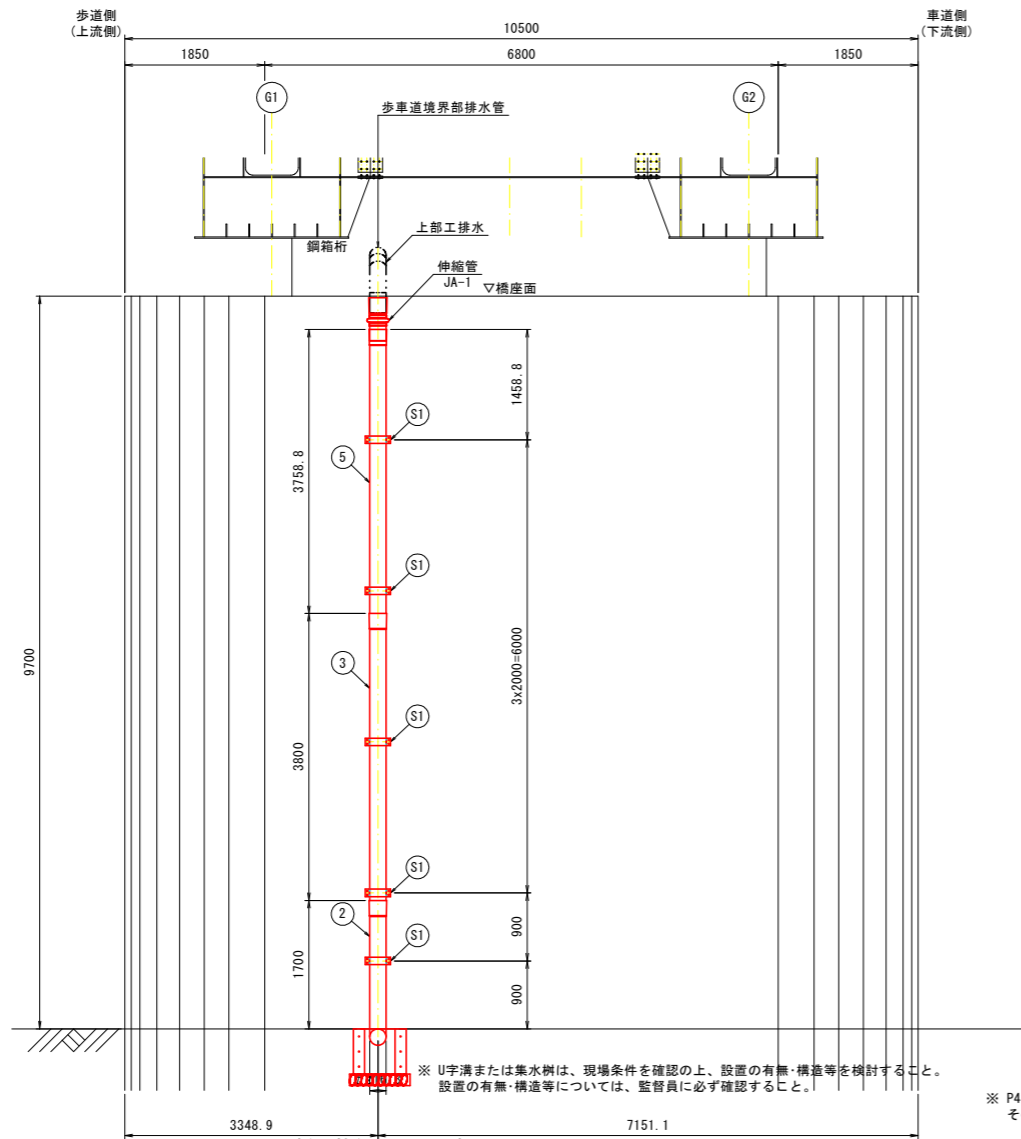
橋面防水工図(その15)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

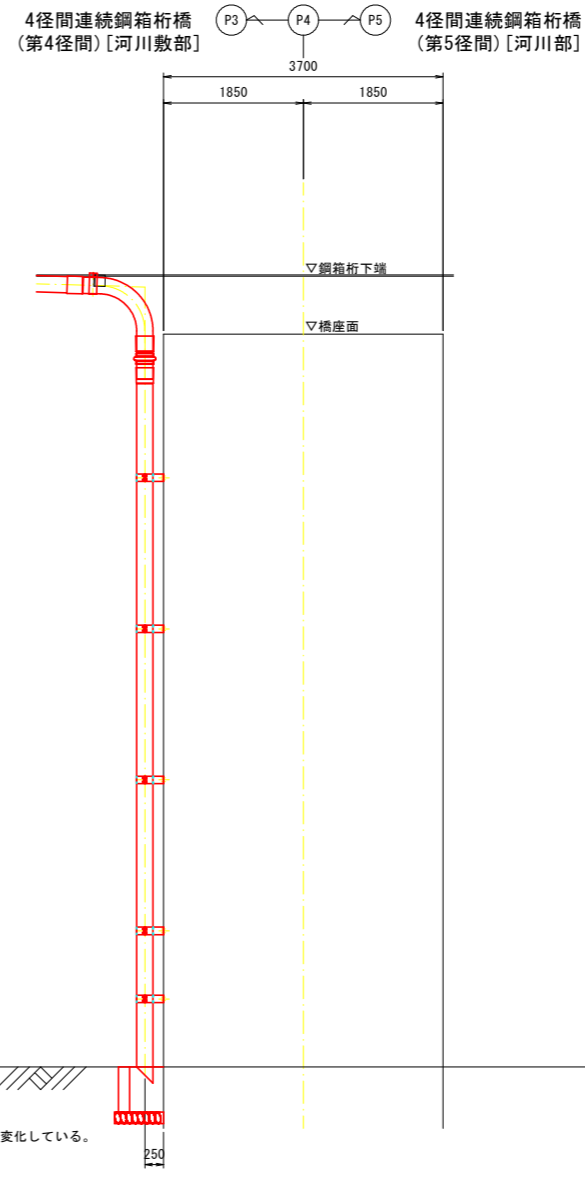
下部工排水詳細<3/4> S=1:50

P4橋脚:河川敷部(第4径間)

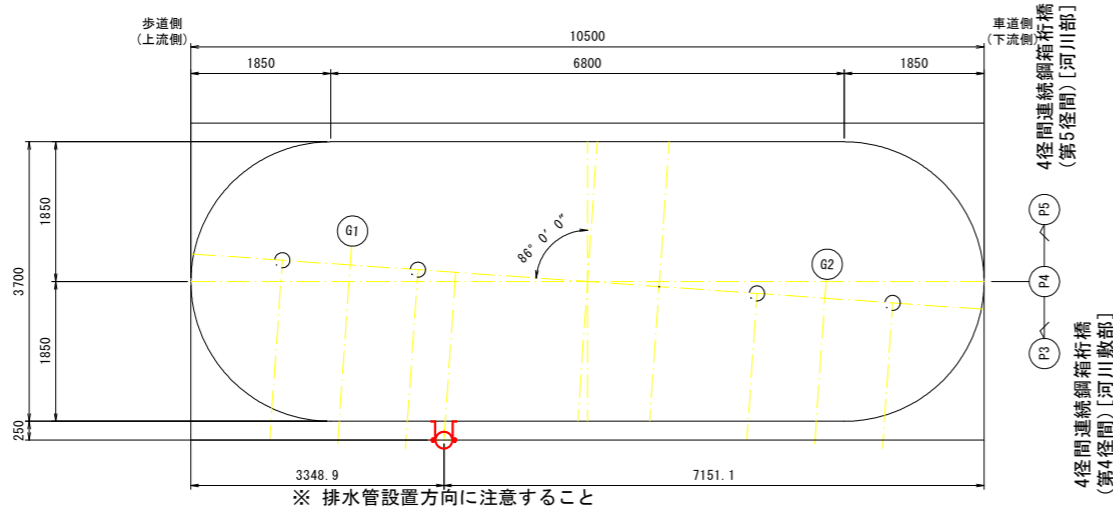
正面図



側面図



平面図



直管

②	1 - V.P	200A × 1916
③	1 - V.P	200A × 4000
⑤	1 - V.P	200A × 3959

取付金具
5 - ⑤

- 注記
- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
 - 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
 - 第3径間～第6径間(P2橋脚～P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間～第9径間(P6橋脚～A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。
 - 4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間～第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。
 - このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三好橋:補修計画図

工事名	R 6三土 三加茂三好線 (三三好橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三好橋)
図面名	橋面防水工図(その15)
縮尺	図示 図面番号 13/ 16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 伸縮管(JA-3)の数量は、歩道張出部・歩車道境界部・車道部で計上。
※ 取付金具詳細図:S1は、その16を参照。

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三好橋」の復元図から想定で作成。P2～P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

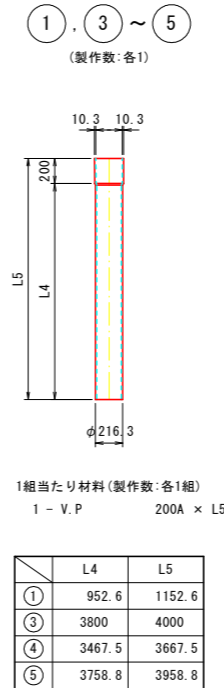
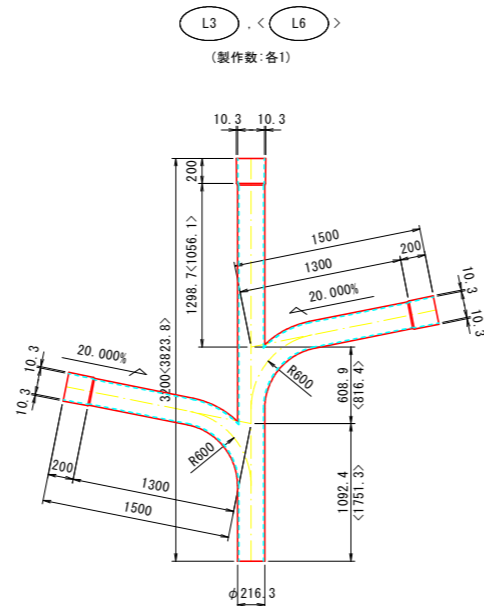
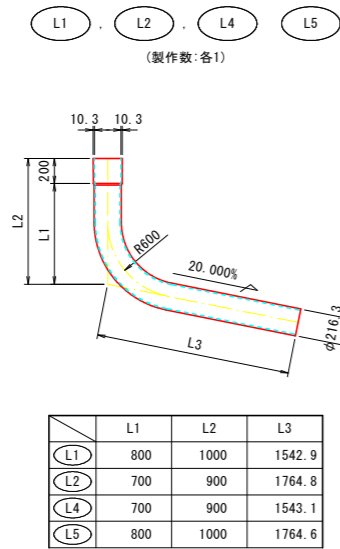
橋面防水工図(その16)

(4径間連続鋼箱桁橋区間)

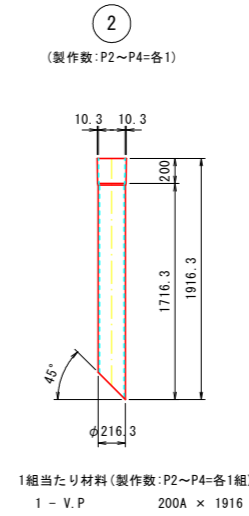
下部工排水詳細<4/4> S=1:30

(P2橋脚~P4橋脚:河川敷部)

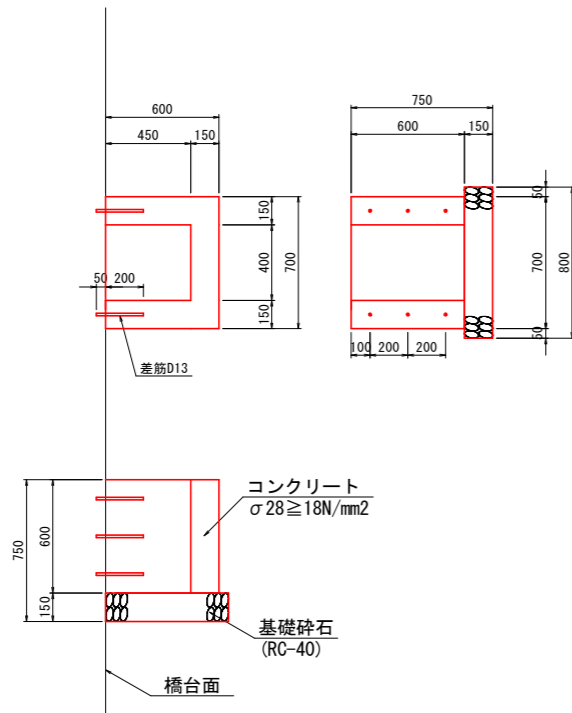
加工管詳細



直管詳細

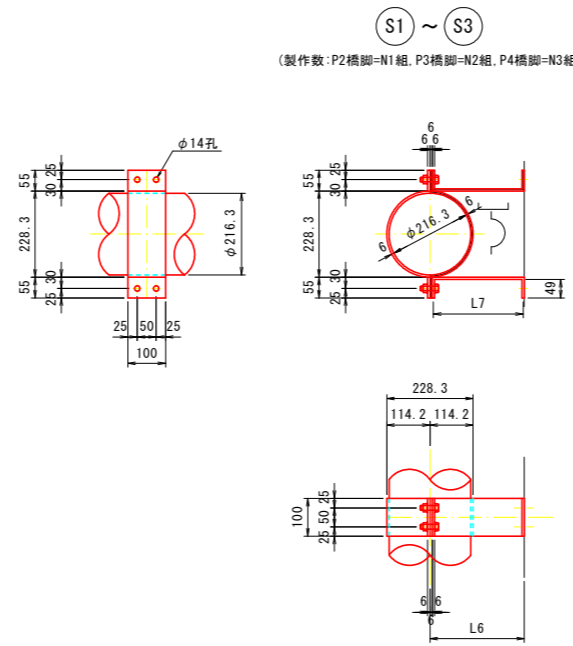


1号集水樹 S=1:20



1号集水樹		1.0式当たり	
名称	数量		
コンクリート	0.144	m ³	
型枠	1.920	m ²	
基礎砕石	0.520	m ²	
差筋D13	1.493	kg	
削孔Φ13	0.300	m	

取付金具詳細 S=1:10



1組当たり材料(製作数:P2橋脚=N1組, P3橋脚=N2組, P4橋脚=N3組)

※ 2 - PL 100 × 6 × 459 (SS400)

※ 2 - PL 100 × 6 × LL1 (SS400)

※ 4 - B.N M12 × 40 (SS400) (2W, UNut付)

※ 4 - 打込み式アンカー M12 × 100 (SS400)

※ 各詳細図および数量表は、P2・P3・P4橋脚(第3・第4径間)を示す。

注記

- 本設計図面は、復元図から想定で作成したものである。
- 施工前に調査を実施し、施工範囲および施工数量について協議の上決定すること。
- ボルト・ナットは全てゆるみ止めのものを使用する。
- ※印付き部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 第3径間~第6径間(P2橋脚~P6橋脚)の4径間連続鋼箱桁区間は、既存資料(復元図)が無いが、第6径間~第9径間(P6橋脚~A2橋台)の3径間連続鋼箱桁区間のみ既存資料(復元図・工事図面)はある。

4径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.6m+73.0mであり、3径間連続鋼箱桁区間の支間長は、73.0m+73.6m+73.0mであり、各支間長は、73.0mか73.6mである。このため、第3径間~第6径間の4径間連続鋼箱桁区間の横引き用排水管および取付金具等の設置計画に必要な主桁継手位置・横桁位置等は、3径間連続鋼箱桁区間の既存資料(復元図)に準拠した。

このことから、施工実施前には必ず現地計測、現地確認を行い、形状寸法等を確認の上、材料発注、加工等にとりかかること。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

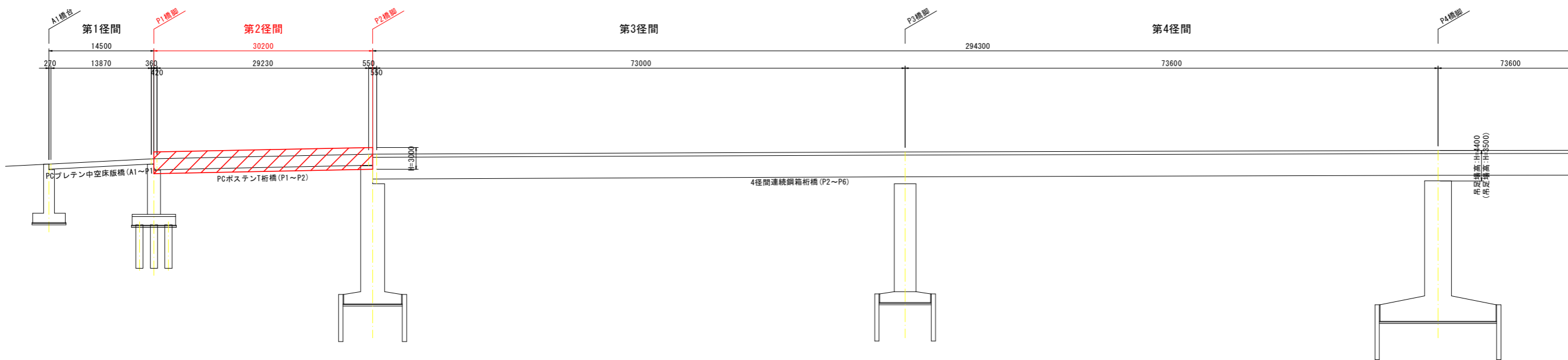
工事名	R 6 三土 三加茂三好線 (三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事 (担い手確保型)
路線名等	(一)三加茂三好線
工事箇所	三好郡東よし町加茂(三三大橋)
図面名	橋面防水工図(その16)
縮尺	図示 図面番号 14/16
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成。P2~P6間の鋼箱桁区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成。

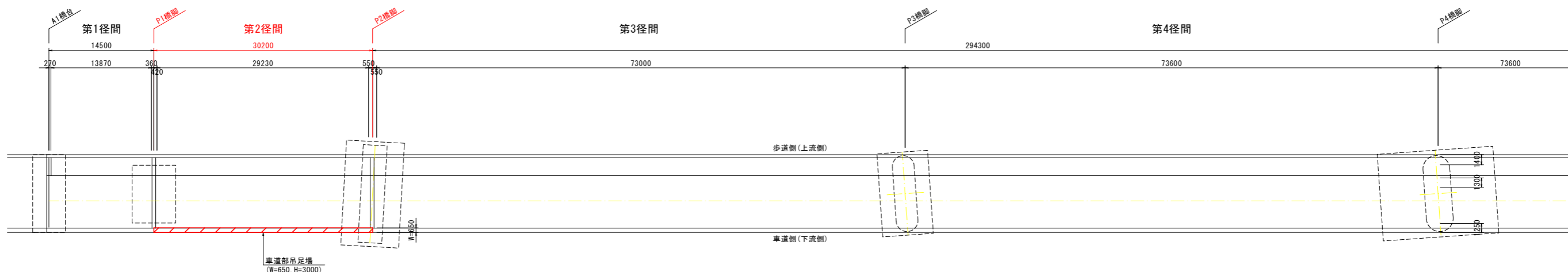
吊足場工計画図(参考図)(その1)

(1径間PCポステンT桁橋:P1~P2[河川敷部]第2径間)
【橋面防水工(床版排水孔・スラブドレーン設置工)・排水管設置工用】

側面図 S=1:300

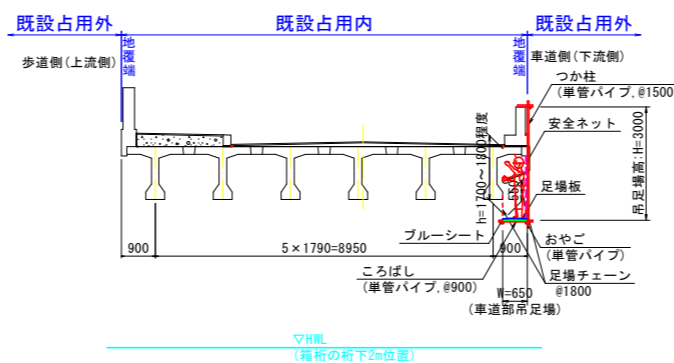


平面図 S=1:300



断面図 S=1:100

(1径間PCポステンT桁橋:P1~P2[河川敷部]第2径間)



※ 吊足場設置高さ・設置幅は、現場・作業状況に応じて適宜調整すること。
設計段階では最小設置高さ・最小設置幅で計画している。
吊足場設置下端位置は、鋼箱桁下2m位置がHWLのためこれを侵さないこと。

吊足場数量表(PCポステンT桁橋:P1~P2[第2径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m ²)
車道部(下流側)	0.65	30.20	1	19.6

※ 足場延長は径間長とした。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図			
工事名	R6三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三大橋)		
図面名	吊足場工計画図(参考図)(その1)		
縮尺	図示	図面番号	15/16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部 <三好>		

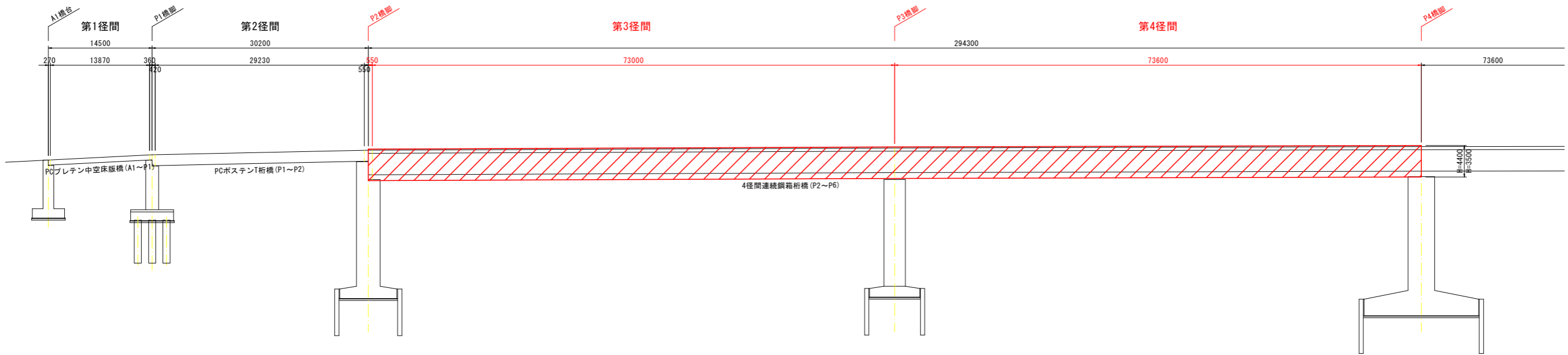
※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から想定で作成
A1~P2間のPC橋区間については、復元図は橋梁一般図しかないため図面は想定で作成

吊足場工計画図(参考図)(その2)

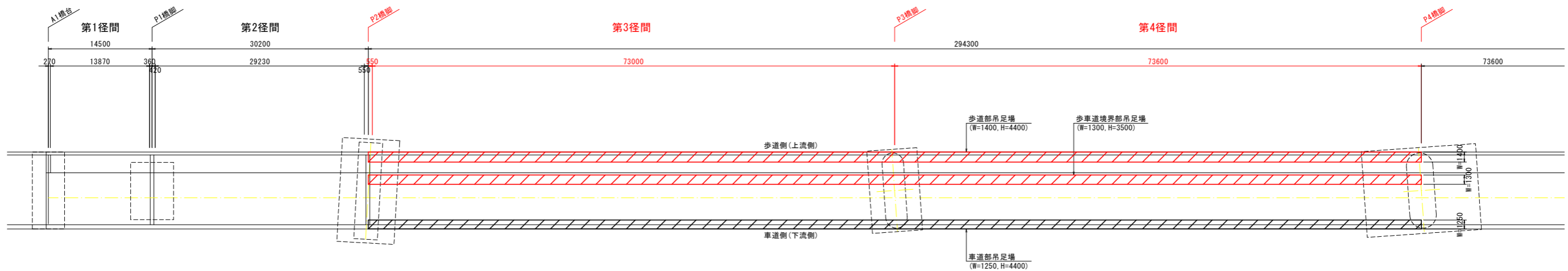
(4径間連続鋼箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)

【橋面防水工(床版排水孔・スラブレーン設置工)・排水管設置工用】

側面図 S=1:300

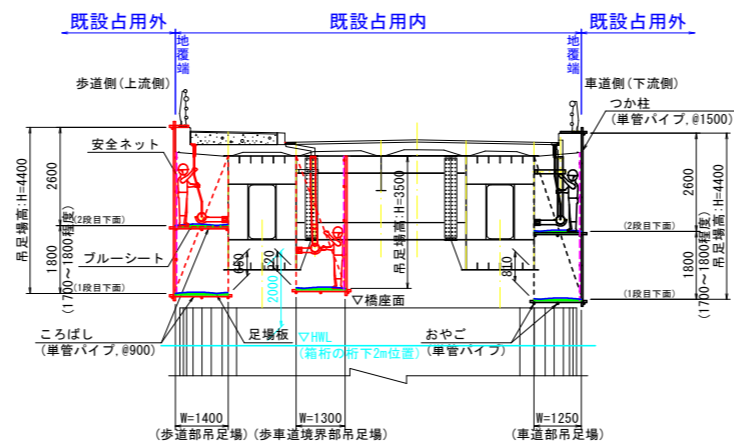


平面図 S=1:300



断面図 S=1:100

(4径間連続鋼箱桁橋:P2~P4[河川敷部]第3・第4径間)



※ 吊足場設置高さ・設置幅は、現場・作業状況に応じて適宜調整すること。
設計段階では最小設置高さ・最小設置幅で計画している。
吊足場設置下端位置は、鋼箱桁下2m位置がHWLのためこれを優さないこと。

吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P2~P3[第3径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m ²)
歩道側(上流側)	1.40	73.55	2	205.9
歩車道境界部	1.30	73.55	1	95.6
車道側(下流側)	1.25	73.55	2	183.9

※ 足場延長は径間長とした。

吊足場数量表(4径間連続鋼箱桁:P3~P4[第4径間])

吊足場設置箇所	足場幅(m)	足場延長(m)	足場段数(段)	足場面積(m ²)
歩道側(上流側)	1.40	73.60	2	206.1
歩車道境界部	1.30	73.60	1	95.7
車道側(下流側)	1.25	73.60	2	184.0

※ 足場延長は径間長とした。

実施設計図面

三三大橋:補修計画図

工事名	R6三土 三加茂三好線(三三大橋) 東・加茂 橋梁修繕工事(担い手確保型)		
路線名等	(一)三加茂三好線		
工事箇所	三好郡東みよし町加茂(三三大橋)		
図面名	吊足場工計画図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	16/16
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<三好>		

※ 本図面は、「平成2年度 橋梁整備事業 三加茂三好線 三三大橋」の復元図から作成